

松島道路管理事務所他外部改修工事 設計図書

意匠図		
番号	図面名称	縮尺
A01	タイトル・図面リスト	—
A02	建築改修工事特記仕様書01	—
A03	建築改修工事特記仕様書02	—
A04	建築改修工事特記仕様書03	—
A05	建築改修工事特記仕様書04	—
A06	建築改修工事特記仕様書05	—
A07	<共通>既存 配置図・案内図	1:150
A08	<共通>既存/改修後 仕上表	—
A09	<管理事務所棟>既存/改修後 平面図	1:100
A10	<管理事務所棟>屋根伏図	1:100
A11	<管理事務所棟>立面図・断面詳細図	1:30 1:100
A12	<管理事務所棟>既存/改修後 天井伏図	1:100
A13	<管理事務所棟>既存建具表	1:50
A14	<倉庫棟>平面図・天井伏図・屋根伏図・建具表	1:100
A15	<受変電棟>平面図・天井伏図・屋根伏図・建具表	1:100
A16	仮設計画図	1:100

3	防水改修工事	1 降雨等に対する養生方法（とい共）	※ 改修標仕 3. 1. 3 (5) (ア)～(ウ) による（ ）	[3. 1. 3]																		
		2 既存防水の処理	既存保護層の撤去 既存防水層の撤去 既存露出防水層表面の仕上げ塗後の除去	<ul style="list-style-type: none"> 行う（範囲・図示による） 行わない 行う（範囲・図示による） 行わない 行う（MAS・MAS I・MAC・MADI・LAX） 行わない 	[3. 2. 6]																	
		3 既存下地の処理	補修箇所の形状、長さ、数量等	※ 図示による（ ）	[3. 2. 6]																	
		4 アスファルト防水	<table border="1"> <tr> <td>施工箇所</td> <td>防水改修工法の種類</td> <td>新規防水層の種類</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 屋根保護（露出）防水断熱工法の断熱材 厚さ ※ 25（ ） 種類（ ） 防水立上り部の保護の方法 ・乾式保護材（性能は建築材料等品質性能表による） ・セメントれんが ・（ ）	施工箇所	防水改修工法の種類	新規防水層の種類				[表3. 1. 1] [3. 3. 3] [表3. 3. 3～10]												
		施工箇所	防水改修工法の種類	新規防水層の種類																		
		5 改質アスファルトシート防水	<table border="1"> <tr> <td>施工箇所</td> <td>工法</td> <td>新規防水層の種類</td> <td>仕上塗料</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工法 AS -</td> <td>※ カラー</td> <td>・シルバーク</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工法 AS -</td> <td>※ カラー</td> <td>・シルバーク</td> </tr> </table> 押え金物材質、形状及び寸法 ・（ ） 仕上塗料の種類及び使用量 ・図示による	施工箇所	工法	新規防水層の種類	仕上塗料		工法 AS -	※ カラー	・シルバーク		工法 AS -	※ カラー	・シルバーク	[表3. 1. 1] [3. 4. 2～3] [表3. 4. 1～3]						
		施工箇所	工法	新規防水層の種類	仕上塗料																	
			工法 AS -	※ カラー	・シルバーク																	
			工法 AS -	※ カラー	・シルバーク																	
		6 合成高分子系ルーフィングシート防水	<table border="1"> <tr> <td>施工箇所</td> <td>工法</td> <td>新規防水層の種類</td> <td>仕上塗料（露出の場合）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工法 S -</td> <td>・カラー</td> <td>・シルバーク</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工法 S -</td> <td>・カラー</td> <td>・シルバーク</td> </tr> </table> 固定金具の材質及び寸法形状 ※ 改修標仕 3. 5. 2 (3) (イ) による ・（ ） 仕上げ塗料の種類及び使用量 ・図示による SI-MI及びSI-M2の場合の防雨用フィルム ・設置する ・設置しない モルタルの塗厚（S-C1の場合） ※ 図示による ・（ ） PCコンクリート下地の場合の処理 現地処理（接着工法の場合） ※ 図示による（ ） 入隅部の増築（S-F1及びSI-F1の場合） ※ 図示による（ ） 立上り部の保護モルタル塗厚（S-C1の場合） ※ 7mm以下 ・（ ）	施工箇所	工法	新規防水層の種類	仕上塗料（露出の場合）		工法 S -	・カラー	・シルバーク		工法 S -	・カラー	・シルバーク	[表3. 1. 1] [3. 5. 2～4] [表3. 5. 1～3]						
施工箇所	工法	新規防水層の種類	仕上塗料（露出の場合）																			
	工法 S -	・カラー	・シルバーク																			
	工法 S -	・カラー	・シルバーク																			
7 塗膜防水	<table border="1"> <tr> <td>施工箇所</td> <td>工法</td> <td>新規防水層の種類</td> <td>仕上塗料</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・POX工法</td> <td>・X-1・X-2・X-III・X-2H</td> <td>・カラー</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・LAX工法</td> <td>・X-1・X-2・X-III・X-2H</td> <td>・カラー</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・PIY工法</td> <td>・Y-2</td> <td>・カラー</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・PZY工法</td> <td>・Y-2</td> <td>・カラー</td> </tr> </table> 既存塗膜防水層表面の仕上げ塗後の除去（LAX工法） ・行う（デッキブラシで水洗い・高圧水洗浄） ・行わない	施工箇所	工法	新規防水層の種類	仕上塗料		・POX工法	・X-1・X-2・X-III・X-2H	・カラー		・LAX工法	・X-1・X-2・X-III・X-2H	・カラー		・PIY工法	・Y-2	・カラー		・PZY工法	・Y-2	・カラー	[表3. 1. 1] [3. 6. 3] [表3. 6. 1～2]
施工箇所	工法	新規防水層の種類	仕上塗料																			
	・POX工法	・X-1・X-2・X-III・X-2H	・カラー																			
	・LAX工法	・X-1・X-2・X-III・X-2H	・カラー																			
	・PIY工法	・Y-2	・カラー																			
	・PZY工法	・Y-2	・カラー																			
8 脱気装置	種類及び設置数量 ・（ ）	[3. 3. 3] [3. 4. 3] [3. 5. 3] [3. 6. 3]																				
9 ルーフドレン	JCW 301（日本鋼鉄ふた・排水器具工業規格）による 材質 ※ 図示による（ ）	[3. 8. 2] [表3. 8. 1]																				
# 改修用ドレン	<ul style="list-style-type: none"> 設ける（POAS、POASI、POD、PODI、POS、POSI、POI工法の場合）2. 5） 取付け方法等は、主防水材の製造所の仕様による 																					
○ 11 シーリング	シーリング改修工法の種類 ・目地の寸法（ ） ・シーリング充填工法 [3. 7. 4] ・シーリング補充充填工法 [3. 7. 5] ・拡張シーリング補充充填工法 [3. 7. 6] ・ブリッジ工法 [3. 7. 7] 接着性試験 ・簡易接着性試験 [3. 7. 8] ・引張接着性試験（部位） ・2面接着とする範囲 ※ 「金属と金属」及び「金属とガラス」（ ）	[3. 1. 4] [表3. 1. 2] [3. 7. 3] [3. 7. 4] [3. 7. 5] [3. 7. 6] [3. 7. 7] [3. 7. 8]																				
12 とい	<table border="1"> <tr> <td>種別</td> <td>材種</td> <td>径</td> <td>施工箇所</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>たてとい</td> <td>・配管用鋼管</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・破管ポリ塩化ビニル管（ ）</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>軒とい</td> <td>・ステンレス鋼板</td> <td></td> <td></td> <td>SUS304 厚2</td> </tr> </table> とい受金物及び足金物 ※ 表3. 8. 2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの） ・（ ） 防露 ※ 表3. 8. 3による	種別	材種	径	施工箇所	備考	たてとい	・配管用鋼管					・破管ポリ塩化ビニル管（ ）				軒とい	・ステンレス鋼板			SUS304 厚2	[3. 8. 2] [表3. 8. 1] [3. 8. 2] [表3. 8. 2]
種別	材種	径	施工箇所	備考																		
たてとい	・配管用鋼管																					
	・破管ポリ塩化ビニル管（ ）																					
軒とい	・ステンレス鋼板			SUS304 厚2																		

建築改修工事特記仕様書		熊本市道路公社		R 5. 3. 17改定	
建築士事務所名	一級建築士事務所 熊本県 知事登録 385 号 大和設計株式会社	工事名称	松島道路管理事務所他外部改修工事		
設計者氏名	一級建築士 大臣 登録第 298678 号 管理建築士 藤本 国範 印	図面名称	熊本県建築改修工事特記仕様書（その2） A03		

5	16 ガラス (続き)	・ 複層ガラス [5. 14. 2]																									
		<table border="1"> <tr> <th>材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ</th> <th>断熱性による区分</th> <th>日射取得性・日射遮蔽性による区分</th> <th>乾燥気体の種類</th> </tr> <tr> <td>・ 図示による</td> <td>・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4</td> <td>・ G ・ S</td> <td>・ 空気 ・ アルゴン ・ クリプトン ・ ネオン</td> </tr> </table>	材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ	断熱性による区分	日射取得性・日射遮蔽性による区分	乾燥気体の種類	・ 図示による	・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4	・ G ・ S	・ 空気 ・ アルゴン ・ クリプトン ・ ネオン																	
		材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ	断熱性による区分	日射取得性・日射遮蔽性による区分	乾燥気体の種類																						
・ 図示による	・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4	・ G ・ S	・ 空気 ・ アルゴン ・ クリプトン ・ ネオン																								
・ 熱線反射ガラス [5. 14. 2]																											
17 ガラス留め材	<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>日射熱透過率・断熱性</th> <th>反射率</th> <th>色 調</th> </tr> <tr> <td>・ フロート板ガラス</td> <td>・ 6</td> <td>・ 1種、A類</td> <td>※ 内面</td> <td>・ ブルー ・ ブロンズ</td> </tr> <tr> <td>※ 熱線反射フロート板ガラス</td> <td>・ 8</td> <td>・ 2種、A類</td> <td>※ 両面</td> <td>・ グレー ・ シルバー</td> </tr> <tr> <td>・ 平面強化ガラス</td> <td>・ 10</td> <td>・ 2種、B類</td> <td></td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ 12</td> <td>・ 3種、B類</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種 類	厚さ (mm)	日射熱透過率・断熱性	反射率	色 調	・ フロート板ガラス	・ 6	・ 1種、A類	※ 内面	・ ブルー ・ ブロンズ	※ 熱線反射フロート板ガラス	・ 8	・ 2種、A類	※ 両面	・ グレー ・ シルバー	・ 平面強化ガラス	・ 10	・ 2種、B類		・ ()	・ ()	・ 12	・ 3種、B類			映像調整 ・ 行う ・ 行わない
	種 類	厚さ (mm)	日射熱透過率・断熱性	反射率	色 調																						
	・ フロート板ガラス	・ 6	・ 1種、A類	※ 内面	・ ブルー ・ ブロンズ																						
※ 熱線反射フロート板ガラス	・ 8	・ 2種、A類	※ 両面	・ グレー ・ シルバー																							
・ 平面強化ガラス	・ 10	・ 2種、B類		・ ()																							
・ ()	・ 12	・ 3種、B類																									
18 ガラスブロック積み	ガラス溝の寸法等	・ 図示による ※ 建具製造所の仕様による [5. 14. 3]																									
	<table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>材 種</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>※ シーリング材 (SR-I) ・ ガスクット (グレイジングチャンネル形)</td> </tr> <tr> <td>鋼製、ステンレス製</td> <td>※ シーリング材 (SR-I)</td> </tr> </table>	建具の種類	材 種	アルミニウム製	※ シーリング材 (SR-I) ・ ガスクット (グレイジングチャンネル形)	鋼製、ステンレス製	※ シーリング材 (SR-I)																				
	建具の種類	材 種																									
アルミニウム製	※ シーリング材 (SR-I) ・ ガスクット (グレイジングチャンネル形)																										
鋼製、ステンレス製	※ シーリング材 (SR-I)																										
JIS A 5212 による [5. 14. 5]	<table border="1"> <tr> <th>表面形状</th> <th>寸 法</th> <th>厚 さ</th> <th>色 調</th> <th>防火認定</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ クリア・ 乳白 ・ カラー () ・ 熱線反射</td> <td>・ なし () ・ 防火設備</td> <td>表中に記載のない事項は、図示による</td> </tr> </table>	表面形状	寸 法	厚 さ	色 調	防火認定	備 考				・ クリア・ 乳白 ・ カラー () ・ 熱線反射	・ なし () ・ 防火設備	表中に記載のない事項は、図示による														
表面形状	寸 法	厚 さ	色 調	防火認定	備 考																						
			・ クリア・ 乳白 ・ カラー () ・ 熱線反射	・ なし () ・ 防火設備	表中に記載のない事項は、図示による																						

6	1 改修範囲	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 [6. 1. 3]
		※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う [6. 1. 3]
		天井内の既存壁の撤去に伴う当該当壁の取合う天井の改修範囲 [6. 1. 3]
	※ 壁面より両側 600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う [6. 1. 3]	
	天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 [6. 1. 3]	※ 既存のまま
	2 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 [6. 2. 2]
※ 仕上材のみ (接着剤とも) ・ 下地モルタルとも (・ 図示による ・ 除去範囲全て) [6. 2. 2]		
合成樹脂塗床材の除去工法 [6. 2. 2]		
・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法 [6. 2. 2]	改修後の床の清掃範囲 [6. 2. 2]	・ 図示による ()
3 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6. 3. 2]	
	・ 改修標準仕4. 4. 9 によるモルタル塗り ()	
4 接着剤	ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ () [6. 5. 1]	
	(帯電防止ビニル床タイル (塵敷タイプ) の接着剤は、粘着はく離形とし、製造所の指定する製品とする)	
5 木下地等	表面仕上げの程度 [6. 5. 1]	
	()	
6 木材	合法木材証明書を監督員に提出すること (ただし、仮設用木材を除く。)	
	製材及び造作用集材材の含水率 ※ A種 ・ B種 [6. 5. 2] [表6. 5. 1]	

ホルムアルデヒド放数量 [6. 5. 2]	
材 料	ホルムアルデヒド放数量
	※改修標準仕6. 5. 2 (1) (ウ) による ()
	※改修標準仕6. 5. 2 (1) (ウ) による ()
	※改修標準仕6. 5. 2 (1) (ウ) による ()

・ JAS1083-5による下地用針葉樹製材 [6. 5. 2]							
施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質
			※ 2級	・ 耳付材 ・ 押角			
・ JAS1083-2による造作用針葉樹製材 [6. 5. 2]							
施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質
			・ 上小節 ・ 板類 ・ 角類				
・ JAS1083-6による広葉樹製材 [6. 5. 2]							
施工箇所	樹種	寸法	等級	含水率	保存処理	材面の品質	
			※ 1級	※ 10%以下			

・ JAS1083以外の製材 [6. 5. 2]					
施工箇所	樹種	寸法	材面の品質	防火処理	含水率
				・ 適用する ・ 適用しない	
目視による材の欠点がないことを全数確認すること					
造作材の材面の品質の基準 ※ A種 ・ B種					
・ 「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 [6. 5. 2]					
施工箇所	樹種	寸法	化粧薄板の厚さ	見付け材面数	見付け材面の品質
			・ 化粧薄板 ・ 芯材		※ 1等

・ 「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材 [6. 5. 2]					
施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の品質	含水率	
				※ 1. 5%以下	
目視による材の欠点がないことを全数確認すること					
・ 「集材材の日本農林規格」以外の化粧はり造作用集材材 [6. 5. 2]					
施工箇所	樹種	寸法	化粧薄板の厚さ	見付け材面の品質	含水率
			・ 化粧薄板 ・ 芯材		※ 1. 5%以下

目視による材の欠点がないことを全数確認すること					
-------------------------	--	--	--	--	--

・ JAS0701による造作用単板覆層材 [6. 5. 2]			
施工箇所	寸法	表面の化粧加工	防火処理
		・ 有 (・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無 (等級: ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等)	・ 適用する ・ 適用しない
・ JAS0701以外の造作用単板覆層材 [6. 5. 2]			
施工箇所	寸法	表面の化粧加工	防火処理
		・ 有 (・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無 ()	・ 適用する ・ 適用しない

含水率 ※ 14%以下 ()
目視による材の欠点がないことを全数確認すること

・ JAS0709による直交集成材 [6. 5. 2]					
施工箇所	強度等級	種別	接着性能	樹種	寸法

・ 「合板の日本農林規格」による普通合板 [6. 5. 2]					
施工箇所	厚さ	単板の樹種	接着の程度	板面の品質	防火処理
	※ 5. 5	※ 1類	広葉樹 ※2级以上 針葉樹 ※C-D以上	・ 適用する ・ 適用しない	

・ 「構造用パネルの日本農林規格」による構造用パネル [6. 5. 2]			
施工箇所	厚さ	等級	備考
		・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級	

・ 「合板の日本農林規格」による構造用合板 [6. 5. 2]						
施工箇所	等級	単板の樹種	接着の程度	板面の品質	厚さ	保存処理
	・ 1級 ・ 2級	・ 特類 ・ 1類	※ C-D以上	※ 12		

・ 「合板の日本農林規格」による化粧はり構造用合板 [6. 5. 2]					
施工箇所	厚さ	単板の樹種	接着の程度	防火処理	備考
			・ 特類 ・ 1類	・ 適用する ・ 適用しない	

・ 「合板の日本農林規格」による天然化粧合板 [6. 5. 2]				
施工箇所	厚さ	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種	防火処理

・ 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧板 [6. 5. 2]					
施工箇所	厚さ	接着の程度	単板の樹種	化粧加工の方法	防火処理

・ JIS A 5908によるパーティクルボード [6. 5. 2]						
施工箇所	表面面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ	備考

・ JIS A 5905によるメディアムデンシティファイバーボード (MDF) [6. 5. 2]						
施工箇所	表面面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ	備考

造作化粧面の釘打ち [6. 5. 3]	
※ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭隠し	
※ 隠し釘打ち、寸法及び材質 [6. 5. 3] [表6. 5. 3~5]	
※ 改修標準仕6. 5. 3 (2) (ア) による	
・ 以下による	

種 類	形 状	寸 法	材 質

・ 防菌・防蟻処理を省略できる樹種による製材 [6. 5. 5]	
適用部位: ()	

・ 薬剤の加圧注入による防菌・防蟻処理 [6. 5. 5]	
適用部材	保存処理性能区分

・ 薬剤の塗布等による防菌・防蟻処理 [6. 5. 5]		
適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※改修標準仕6. 5. 5 (1) (b) ②ア~エによる	※ JIS K 1571 適合 (同等) 品

・ 薬剤の接着剤への混入による防菌・防蟻処理 [6. 5. 5]	
適用部位: ()	

・ 合板等の加圧注入による防菌・防蟻処理 [6. 5. 5]	
--------------------------------	--

野縁等の種類 [6. 6. 2]	
屋内 (※ 19形 ・ 25形)	屋外 (・ 19形 ※ 25形)

野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 (屋外) [6. 6. 3]	
※ 図示による (・ 間隔: 周辺部の端からの間隔:)	
野縁の間隔 (屋外) ・ 図示による () [6. 6. 3]	

既存の埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない [6. 6. 4]	
あと施工アンカーの確認試験 [6. 6. 4]	
・ 行う 試験箇所数 (・ ※ 屋内の場合、改修標準仕6. 6. 4 (1) (ウ) による) [6. 6. 4]	
確認強度 (・ ※ 屋内の場合、改修標準仕6. 6. 4 (1) (ウ) による) [6. 6. 4]	
・ 行わない [6. 6. 4]	

吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法は、図示による [6. 6. 4]	
吊りボルトの水平補強、斜め補強 [6. 6. 4]	
天井のふところがない場合 ※ 改修標準仕6. 6. 4 による [6. 6. 4]	
天井のふところがない場合 ※ 図示による [6. 6. 4]	
耐震性を考慮した補強 ・ 行う (図示による) ・ 行わない [6. 6. 4]	
屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 [6. 6. 4]	
・ 行う (図示による) ・ 行わない [6. 6. 4]	

10 軽量鉄骨壁下地 [6. 7. 3] [表6. 7. 1]						
・ 表6. 7. 1のスタッドの高さによる区分に応じた種類 () [6. 7. 4]						
※ 改修標準仕6. 7. 4 (5) による ()						
11 ビニル床シート [6. 8. 2~3]						
施工箇所	区分	種別	色柄	厚さ	特殊機能	
	・ 発着層の ないもの	・ 単層ビニル床シート (TS)	・ 無地	・ 2. 0	・ 帯電防止	
	・ 発着層の あるもの	・ 複層ビニル床シート (FS)	・ 縞縞	・ 2. 5	・ 耐衝撃性	
		・ 発着層の あるもの	・ 発着層ビニル床シート (BS)	・ 無地	・ 2. 3	・ 防汚性
			・ クッションフロア (KS)	・ 縞縞	・ 2. 8	・ 耐薬品性
目地処理する場合の工法 ※ 熱溶解工法 ()						
12 ビニル床タイル [6. 8. 2~3]						
施工箇所	区分	種別	色柄	寸法	厚さ	特殊機能
	・ 接着形	・ 単層ビニル床タイル (TT)	・ 無地	・ 300角	・ 2. 0	・ 帯電防止
		・ 複層ビニル床タイル (FT)	・ 縞縞	・ 450角	・ 2. 5	・ 帯電防止
		・ コシゴシゴシ床タイル (KT)				・ 防汚性
	・ 塵敷形	・ 塵敷きビニル床タイル (FA)	・ 無地	・ 500角	・ 4以上	・ 防汚性
		・ 厚部塵敷きビニル床タイル (FB)	・ 縞縞			
13 ビニル幅木 [6. 8. 2]						
材質の種類		厚さ	高さ			
※ 軟質 ・ 硬質		※ 1. 5以上 ()	※ 0 ・ 75 1-0. 0			
14 ゴム床タイル [6. 8. 2]						
施工箇所	種類	寸法	厚さ	色柄		
15 カーペット敷き [6. 9. 2] [表6. 9. 1]						
種別	織り方	パイルの形状	色柄	備考		
・ A種	・ ウィルトンカーペット	・ カットパイル	※ 無地	・ 帯電防止及び防汚加工品		
・ B種	・ ダブルフェースカーペット	・ ループパイル				
・ C種	・ アクシムスターカーペット	・ カット/ループパイル				
・ タフテッドカーペット [6. 9. 2~3] [表6. 9. 2]						
パイルの形状	パイル長	工法の種類	色柄	備考		
・ カットパイル		・ グリッパー工法		・ 帯電防止及び防汚加工品		
・ ループパイル		・ 全面接着工法				
・ カット/ループパイル						
・ ニードルパンチカーペット [6. 9. 3]						
厚さ ()	ただし、帯電防止及び防汚加工品とする					
・ タイルカーペット [6. 9. 2~3] [表6. 9. 2]						
種 別	パイルの形状	寸法	総厚さ	色柄	備考	
※ 第一種	・ カットパイル	※ 500角	※ 6. 5	※ 無地	・ 帯電防止及び防汚加工品	
・ 第二種	※ ループパイル			・ 柄物		
	・ カット/ループパイル					
敷き方						
平掃	※ 市松敷き	・ 横線流し	()			
階段部分	※ 市松敷き	※ 横線流し	()			
取付け用材は、監督員との協議による						
織じゅうたんの接合法 [6. 9. 3]						
※ ヒートボンディング法 () [6. 9. 3]						
16 合成樹脂塗床 [6. 10. 2~3] [表6. 10. 1~2] [表6. 10. 4~7]						
施工箇所	種別	工法	仕上げの種類			
	・ 弾性ウレタン樹脂系塗床		・ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ			
	※ エポキシ樹脂系塗床	・ 薄膜流しのべ ・ 厚膜流しのべ ・ 樹脂モルタル	・ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ			
17 フローリング張り [6. 11. 2~5] [表6. 11. 1] [表6. 11. 3] [表6. 11. 5]						
種別	工法	樹種	厚さ	大きさ	仕上塗装	
・ フローリングボード	・ 釘留め工法 (根太張り)	※ なら	・ 桧 ・ 杉	・ 15 ・ 板長400以上	・ 塗装品 ・ 無塗装品	
	・ 釘留め工法 (直張り)		・ 12以上			
	・ 接着工法		・ 8以上	板幅75以上 板長400以上	・ 塗装品 ・ 無塗装品	
・ フローリングブロック	・ 接着工法			()	・ 塗装品 ・ 無塗装品	
接着工法の場合の継ぎ材 ・ 合成樹脂発泡シート ()						
・ 天然化粧複合材①②③④⑤ [6. 11. 2] [表6. 11. 4] [表6. 11. 6]						
種別	工法	樹種	厚さ	大きさ	種別	仕上塗装
・ 複合1種	・ 釘留め工法	※ なら	表6. 11. 2	表6. 11. 2	・ A種	※ 塗装品
・ フェルト	(根太張り)		による		・ B種	・ 無塗装品
・ 複合2種	・ 釘留め工法		表6. 11. 4	表6. 11. 4	・ C種	
・ フェルト	(直張り)		による			
・ 複合3種	・ 接着工法		表6. 11. 6	表6. 11. 6		
・ フェルト			による			
防火処理 ・ 適用する ・ 適用しない [6. 11. 6]						
接着工法の場合の継ぎ材 ・ 合成樹脂発泡シート ()						
・ 現場塗装仕上げ [6. 11. 6]						
・ ウレタン樹脂ワニス塗り						
・ オイルステイン塗りやニスワックス塗り						
・ 生地のままワックス塗り						
18 畳敷き [6. 12. 2] [表6. 12. 1]						
種別	A種 ・ B種 ・ C種					
	・ D種 (・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N)					
19 セッコウボード及び合板張り [6. 13. 2~3] [表6. 13. 1~5]						
規格名称		種 類	厚さ等			
・ 木質系セメント板		・ アルミ	・ 厚さ等			
・ 繊維強化セメント板		・ スチール				
・ 火山性ガラス質複層板						
・ 繊維板						
・ パーティクルボード						
・ 吸音材料						
・ セッコウボード製品						
・ 普通合板						
表板の樹種名 ()						
板面の品質 ()						
厚さ ()						
接着の程度 ()						
防火処理 ・ 行う ・ 行わない						

R5. 3. 17改定	
-------------	--

6	10 軽量鉄骨壁下地 [6. 7. 3] [表6. 7. 1]	スタッド、ランナーの種類 [6. 7. 3] [表6. 7. 1]																													
		・ 表6. 7. 1のスタッドの高さによる区分に応じた種類 () [6. 7. 4]																													
		出入口及びこれに準じる開口部の補強																													
11 ビニル床シート [6. 8. 2~3]	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>区分</th> <th>種別</th> <th>色柄</th> <th>厚さ</th> <th>特殊機能</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 発着層の ないもの</td> <td>・ 単層ビニル床シート (TS)</td> <td>・ 無地</td> <td>・ 2. 0</td> <td>・ 帯電防止</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 発着層の あるもの</td> <td>・ 複層ビニル床シート (FS)</td> <td>・ 縞縞</td> <td>・ 2. 5</td> <td>・ 耐衝撃性</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 発着層の あるもの</td> <td>・ 発着層ビニル床シート (BS)</td> <td>・ 無地</td> <td>・ 2. 3</td> <td>・ 防汚性</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ クッションフロア (KS)</td> <td>・ 縞縞</td> </tr></table>	施工箇所	区分	種別	色柄	厚さ	特殊機能		・ 発着層の ないもの	・ 単層ビニル床シート (TS)	・ 無地	・ 2. 0	・ 帯電防止		・ 発着層の あるもの	・ 複層ビニル床シート (FS)	・ 縞縞	・ 2. 5	・ 耐衝撃性			・ 発着層の あるもの	・ 発着層ビニル床シート (BS)	・ 無地	・ 2. 3	・ 防汚性				・ クッションフロア (KS)	・ 縞縞
	施工箇所	区分	種別	色柄	厚さ	特殊機能																									
		・ 発着層の ないもの	・ 単層ビニル床シート (TS)	・ 無地	・ 2. 0	・ 帯電防止																									
	・ 発着層の あるもの	・ 複層ビニル床シート (FS)	・ 縞縞	・ 2. 5	・ 耐衝撃性																										
		・ 発着層の あるもの	・ 発着層ビニル床シート (BS)	・ 無地	・ 2. 3	・ 防汚性																									
			・ クッションフロア (KS)	・ 縞縞																											

6	内装改修工事	28 トイレブース	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">表面材の種類</th> <th colspan="2">脚部の形状</th> <th colspan="2">ドアエッジ</th> </tr> <tr> <td>材質</td> <td>形状</td> <td>材質</td> <td>形状</td> <td>材質</td> <td>形状</td> </tr> <tr> <td>※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>※幅木タイプ ・</td> <td>※標準 ・R</td> <td>※アルミニウム製 ※ステンレス製 ※表面材と同等</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	表面材の種類		脚部の形状		ドアエッジ		材質	形状	材質	形状	材質	形状	※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・	※標準 ・R	※アルミニウム製 ※ステンレス製 ※表面材と同等																				
		表面材の種類		脚部の形状		ドアエッジ																																	
		材質	形状	材質	形状	材質	形状																																
		※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・	※標準 ・R	※アルミニウム製 ※ステンレス製 ※表面材と同等																																		
29 視覚障がい者用床タイル	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>屋内</td> <td>・強化ビニル製 ・磁器質タイル ・レンジコンクリート製</td> <td>※300角</td> <td>※7.0</td> </tr> <tr> <td>屋外</td> <td>・磁器質タイル ・レンジコンクリート製</td> <td>※300角</td> <td>※7.0</td> </tr> </table> <p>ブロックパターンはJIS T 9251による</p>	種類		寸法(mm)	厚さ(mm)	屋内	・強化ビニル製 ・磁器質タイル ・レンジコンクリート製	※300角	※7.0	屋外	・磁器質タイル ・レンジコンクリート製	※300角	※7.0																										
種類		寸法(mm)	厚さ(mm)																																				
屋内	・強化ビニル製 ・磁器質タイル ・レンジコンクリート製	※300角	※7.0																																				
屋外	・磁器質タイル ・レンジコンクリート製	※300角	※7.0																																				
30 階段滑り止め	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>幅(mm)</th> <th>取付工法</th> </tr> <tr> <td>・ステンレス製(SUS304)ビニルタイヤ入り</td> <td>※35</td> <td>※接着工法 ・()</td> </tr> </table>	材種	幅(mm)	取付工法	・ステンレス製(SUS304)ビニルタイヤ入り	※35	※接着工法 ・()																																
材種	幅(mm)	取付工法																																					
・ステンレス製(SUS304)ビニルタイヤ入り	※35	※接着工法 ・()																																					
31 床目地枠	床仕上げの異なる箇所には目地枠を入れる。 ※ステンレス製 □型 (幅40程度 A1.5) ・ステンレス製 5×12 ・黄銅製 6×12																																						
32 階段手すり	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・タモ ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール</td> <td>・クリアラッカー ・HL ・EP-G ・ SOP</td> <td>・35 ・45 ()</td> <td>・1段手すり ・2段手すり () 指づめ防止共</td> </tr> </table>	材種	表面仕上げ	直径(mm)	備考	・タモ ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール	・クリアラッカー ・HL ・EP-G ・ SOP	・35 ・45 ()	・1段手すり ・2段手すり () 指づめ防止共																														
材種	表面仕上げ	直径(mm)	備考																																				
・タモ ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール	・クリアラッカー ・HL ・EP-G ・ SOP	・35 ・45 ()	・1段手すり ・2段手すり () 指づめ防止共																																				
33 ブラインド	<ul style="list-style-type: none"> ・再使用する [2.3.1] [5.1.6] ・新設する (2.0.2.12) <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>※模型ブラインド</th> <th>※縦型ブラインド</th> </tr> <tr> <td>開閉方式</td> <td>※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※2本操作コード方式</td> </tr> <tr> <td>スラットの幅</td> <td>※25 ・35 ・()</td> <td>※80 ・100</td> </tr> </table>	形式	※模型ブラインド	※縦型ブラインド	開閉方式	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※2本操作コード方式	スラットの幅	※25 ・35 ・()	※80 ・100																													
形式	※模型ブラインド	※縦型ブラインド																																					
開閉方式	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※2本操作コード方式																																					
スラットの幅	※25 ・35 ・()	※80 ・100																																					
34 カーテン	<ul style="list-style-type: none"> ・再使用する [2.3.1] [5.1.6] ・新設する (2.0.2.14) <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>きれ地の種類</th> </tr> <tr> <td>・シングル ・ダブル</td> <td>・片引き ※手引き ・引分け ・ひも引き ・電動</td> <td>・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ</td> <td>品質、特殊加工</td> </tr> </table>	形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種類	・シングル ・ダブル	・片引き ※手引き ・引分け ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ	品質、特殊加工																														
形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種類																																				
・シングル ・ダブル	・片引き ※手引き ・引分け ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ	品質、特殊加工																																				
35 カーテンレール	<ul style="list-style-type: none"> ・再使用する [5.1.6] ・新設する (2.0.2.14) <p>材種 ※アルミニウム製及びアルミニウム合金の押出し成形板 (アルマイト仕上げ) ・ステンレス製</p> <p>形状 ・角形 ・()</p>																																						
36 カーテンボックス	<ul style="list-style-type: none"> ・再使用する [5.1.6] ・新設する <p>材質 ・アルミニウム製既製品 (・シルバー ・着色) ・鋼製 ・木製</p>																																						
37 コーナービート (壁ボード出隅保護金物)	<p>材質 ※アルミニウム押出材差込型 ・() ※シルバー ・焼付 ・() ・コーナー保護金物付きジョイントテープ</p>																																						
38 天井見切縁	<p>材質 ・アルミニウム押出材材 ※強化ビニル製 施工箇所 ※図示による ・()</p>																																						
39 点検口	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>※アルミニウム製 ・</td> <td>※450角 ・600角</td> <td>・一般形</td> <td>・継付き</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>※アルミニウム製目地 ・ステンレス鋼製目地</td> <td>※450角 ※600角</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>性能は建築材料等品質性能表による</p>	形式	材種	寸法	形式	備考	天井	※アルミニウム製 ・	※450角 ・600角	・一般形	・継付き	床	※アルミニウム製目地 ・ステンレス鋼製目地	※450角 ※600角																									
形式	材種	寸法	形式	備考																																			
天井	※アルミニウム製 ・	※450角 ・600角	・一般形	・継付き																																			
床	※アルミニウム製目地 ・ステンレス鋼製目地	※450角 ※600角																																					
7	塗装改修工事	○1 材料	ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・() [7.1.3]																																				
		○2 下地調整	<p>防火材料 ※ 壁内の壁、天井の塗装仕上げ材は防火材料とし、建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする ・ 次の箇所を除き防火材料とする (箇所：)</p> <p>既存塗膜の除去範囲 (塗替えでB種の場合) [7.2.1] [表7.2.1~7] ※ 劣化部分は残し、括弧部分は残す。 ※ 図示による</p> <p>下地調整 [7.2.2~7] [表7.2.1~7]</p> <table border="1"> <tr> <th>下地面</th> <th>種別</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>・ RA種 ※ B種 ・ C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・ RA種 ※ B種 ・ C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>・ RA種 ※ B種 ・ C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 (無塗装既存)</td> <td>※ RA種 ※ B種 ・ C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>・ RA種 ※ B種 ・ C種</td> <td>・ 行う (面の処理) () ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外)</td> <td>・ RA種 ※ B種 ・ C種</td> <td>・ 行う (面の処理) () ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>ALCパネル面</td> <td>・ A種</td> <td>・ 行う (面の処理) () ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP)</td> <td>・ RA種 ・ B種 ・ C種</td> <td>・ 行う (面の処理) () ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・ RA種 ※ B種 ・ C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面</td> <td>・ RA種 ※ B種 ・ C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他ボード面</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	下地面	種別	ひび割れ部の補修	木部	・ RA種 ※ B種 ・ C種		鉄鋼面	・ RA種 ※ B種 ・ C種		亜鉛めっき鋼面	・ RA種 ※ B種 ・ C種		亜鉛めっき鋼面 (無塗装既存)	※ RA種 ※ B種 ・ C種		モルタル面	・ RA種 ※ B種 ・ C種	・ 行う (面の処理) () ・ 行わない	コンクリート面 (DP以外)	・ RA種 ※ B種 ・ C種	・ 行う (面の処理) () ・ 行わない	ALCパネル面	・ A種	・ 行う (面の処理) () ・ 行わない	コンクリート面 (DP)	・ RA種 ・ B種 ・ C種	・ 行う (面の処理) () ・ 行わない	押出成形セメント板面	・ RA種 ※ B種 ・ C種		せっこうボード面	・ RA種 ※ B種 ・ C種		その他ボード面		
		下地面	種別	ひび割れ部の補修																																			
木部	・ RA種 ※ B種 ・ C種																																						
鉄鋼面	・ RA種 ※ B種 ・ C種																																						
亜鉛めっき鋼面	・ RA種 ※ B種 ・ C種																																						
亜鉛めっき鋼面 (無塗装既存)	※ RA種 ※ B種 ・ C種																																						
モルタル面	・ RA種 ※ B種 ・ C種	・ 行う (面の処理) () ・ 行わない																																					
コンクリート面 (DP以外)	・ RA種 ※ B種 ・ C種	・ 行う (面の処理) () ・ 行わない																																					
ALCパネル面	・ A種	・ 行う (面の処理) () ・ 行わない																																					
コンクリート面 (DP)	・ RA種 ・ B種 ・ C種	・ 行う (面の処理) () ・ 行わない																																					
押出成形セメント板面	・ RA種 ※ B種 ・ C種																																						
せっこうボード面	・ RA種 ※ B種 ・ C種																																						
その他ボード面																																							
○3 錆止め塗料塗り	<table border="1"> <tr> <th>塗装面</th> <th>塗料の種類</th> <th>工程の種類</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">鉄鋼面</td> <td>SOP A種</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 特記がなければ7.4.3(1)(ア)による</td> </tr> <tr> <td>DP ・ C種 ・ D種 ・ E種 改修仕様7.4.2(1)(イ)による</td> <td>※ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>EP-G ・ A種 ※ B種</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 特記がなければ7.4.3(3)(ア)による</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">亜鉛めっき鋼面</td> <td>SOP ※ A種 ・ B種</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 特記がなければ7.4.3(1)(ア)による</td> </tr> <tr> <td>DP B種</td> <td>改修仕様7.4.6による</td> </tr> <tr> <td>EP-G C種</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 特記がなければ7.4.3(3)(ア)による</td> </tr> </table>	塗装面	塗料の種類	工程の種類	鉄鋼面	SOP A種	・ A種 ・ B種 ・ C種 特記がなければ7.4.3(1)(ア)による	DP ・ C種 ・ D種 ・ E種 改修仕様7.4.2(1)(イ)による	※ A種 ・ B種 ・ C種	EP-G ・ A種 ※ B種	・ A種 ・ B種 ・ C種 特記がなければ7.4.3(3)(ア)による	亜鉛めっき鋼面	SOP ※ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種 ・ C種 特記がなければ7.4.3(1)(ア)による	DP B種	改修仕様7.4.6による	EP-G C種	・ A種 ・ B種 ・ C種 特記がなければ7.4.3(3)(ア)による																					
塗装面	塗料の種類	工程の種類																																					
鉄鋼面	SOP A種	・ A種 ・ B種 ・ C種 特記がなければ7.4.3(1)(ア)による																																					
	DP ・ C種 ・ D種 ・ E種 改修仕様7.4.2(1)(イ)による	※ A種 ・ B種 ・ C種																																					
	EP-G ・ A種 ※ B種	・ A種 ・ B種 ・ C種 特記がなければ7.4.3(3)(ア)による																																					
亜鉛めっき鋼面	SOP ※ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種 ・ C種 特記がなければ7.4.3(1)(ア)による																																					
	DP B種	改修仕様7.4.6による																																					
	EP-G C種	・ A種 ・ B種 ・ C種 特記がなければ7.4.3(3)(ア)による																																					

7	○4 塗装	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">塗装の種類</th> <th colspan="2">工程の種類</th> </tr> <tr> <td>塗装面</td> <td>塗替え</td> <td>新規</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)</td> <td>木部 (屋外)</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> <td>※ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>木部 (屋内)</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> <td>※ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> <td>※ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)</td> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>※ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>※ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> <td>※ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>・ クリアアッカー塗り (CL)</td> <td>・ A種 ※ B種</td> <td>・ A種 ※ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ フタル酸樹脂エマルジョン塗り (FE)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)</td> <td>・ A種 ※ B種</td> <td>・ A種 ※ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 鉄鋼面</td> <td>改修仕様7.7.8.1による</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 亜鉛めっき鋼面</td> <td>改修仕様7.7.8.2による</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 耐候性塗料塗り (DP)</td> <td>コンクリート面 ・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ A-1種 ・ B-1種 ・ C-1種 押出成形セメント板面 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種 コンクリート面</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ つや有合成樹脂エマルジョン</td> <td>モルタル面 せっこうプラスター面 せっこうボード面 その他ボード面等</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> <td>・ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>○ ペイント塗り (EP-G)</td> <td>木部 (屋外)</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> <td>※ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鉄鋼面 (屋内)</td> <td>※ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>※ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>亜鉛めっき鋼面 (屋内)</td> <td>※ A種 ・ B種</td> <td>※ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> <td>・ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 合成樹脂エマルジョン有機塗料塗り (E P-T)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</td> <td>・ A種 ※ B種</td> <td>・ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ステイン塗り ・ ビタメタステイン塗り ・ オイルステイン塗り</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 木材保護塗料塗り (WP)</td> <td>・ A種 ※ B種</td> <td>・ A種 ※ B種</td> </tr> </table> <p>合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) の塗料の種類 ※ 1種 ・ 2種</p> <p>耐候性塗料塗り (DP) の上塗り等級 鉄鋼面 ・ () 亜鉛めっき鋼面 ・ ()</p> <p>つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G) におけるコンクリート面、モルタル面、せっこうプラスター面、せっこうボード面及びその他ボード面等の塗替えのしめ止め ※ 改修仕様7.9.1の工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする ・ ()</p> <p>合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP) の塗替えのしめ止め ※ 改修仕様7.10.1の工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする ・ ()</p>	塗装の種類		工程の種類		塗装面	塗替え	新規		合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部 (屋外)	・ A種 ※ B種 ・ C種	※ A種 ・ B種 ・ C種	木部 (屋内)	・ A種 ※ B種 ・ C種	※ A種 ※ B種 ・ C種	鉄鋼面	・ A種 ※ B種 ・ C種	※ A種 ※ B種 ・ C種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	亜鉛めっき鋼面	※ A種 ・ B種 ・ C種	※ A種 ※ B種 ・ C種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	・ A種 ※ B種 ・ C種	※ A種 ※ B種 ・ C種	・ クリアアッカー塗り (CL)	・ A種 ※ B種	・ A種 ※ B種		・ フタル酸樹脂エマルジョン塗り (FE)				○ アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)	・ A種 ※ B種	・ A種 ※ B種		○ 鉄鋼面	改修仕様7.7.8.1による			○ 亜鉛めっき鋼面	改修仕様7.7.8.2による			○ 耐候性塗料塗り (DP)	コンクリート面 ・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ A-1種 ・ B-1種 ・ C-1種 押出成形セメント板面 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種 コンクリート面			○ つや有合成樹脂エマルジョン	モルタル面 せっこうプラスター面 せっこうボード面 その他ボード面等	・ A種 ※ B種 ・ C種	・ A種 ※ B種	○ ペイント塗り (EP-G)	木部 (屋外)	・ A種 ※ B種 ・ C種	※ A種 ・ B種 ・ C種		鉄鋼面 (屋内)	※ A種 ・ B種 ・ C種	※ A種 ・ B種		亜鉛めっき鋼面 (屋内)	※ A種 ・ B種	※ A種 ・ B種		・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	・ A種 ※ B種 ・ C種	・ A種 ※ B種		・ 合成樹脂エマルジョン有機塗料塗り (E P-T)				・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	・ A種 ※ B種	・ A種 ※ B種		ステイン塗り ・ ビタメタステイン塗り ・ オイルステイン塗り				・ 木材保護塗料塗り (WP)	・ A種 ※ B種	・ A種 ※ B種
		塗装の種類		工程の種類																																																																																			
		塗装面	塗替え	新規																																																																																			
		合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部 (屋外)	・ A種 ※ B種 ・ C種	※ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																		
木部 (屋内)	・ A種 ※ B種 ・ C種		※ A種 ※ B種 ・ C種																																																																																				
鉄鋼面	・ A種 ※ B種 ・ C種		※ A種 ※ B種 ・ C種																																																																																				
亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	亜鉛めっき鋼面	※ A種 ・ B種 ・ C種	※ A種 ※ B種 ・ C種																																																																																				
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	・ A種 ※ B種 ・ C種	※ A種 ※ B種 ・ C種																																																																																				
・ クリアアッカー塗り (CL)	・ A種 ※ B種	・ A種 ※ B種																																																																																					
・ フタル酸樹脂エマルジョン塗り (FE)																																																																																							
○ アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)	・ A種 ※ B種	・ A種 ※ B種																																																																																					
○ 鉄鋼面	改修仕様7.7.8.1による																																																																																						
○ 亜鉛めっき鋼面	改修仕様7.7.8.2による																																																																																						
○ 耐候性塗料塗り (DP)	コンクリート面 ・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ A-1種 ・ B-1種 ・ C-1種 押出成形セメント板面 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種 コンクリート面																																																																																						
○ つや有合成樹脂エマルジョン	モルタル面 せっこうプラスター面 せっこうボード面 その他ボード面等	・ A種 ※ B種 ・ C種	・ A種 ※ B種																																																																																				
○ ペイント塗り (EP-G)	木部 (屋外)	・ A種 ※ B種 ・ C種	※ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																				
	鉄鋼面 (屋内)	※ A種 ・ B種 ・ C種	※ A種 ・ B種																																																																																				
	亜鉛めっき鋼面 (屋内)	※ A種 ・ B種	※ A種 ・ B種																																																																																				
	・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	・ A種 ※ B種 ・ C種	・ A種 ※ B種																																																																																				
	・ 合成樹脂エマルジョン有機塗料塗り (E P-T)																																																																																						
	・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	・ A種 ※ B種	・ A種 ※ B種																																																																																				
	ステイン塗り ・ ビタメタステイン塗り ・ オイルステイン塗り																																																																																						
	・ 木材保護塗料塗り (WP)	・ A種 ※ B種	・ A種 ※ B種																																																																																				
8	耐震改修工事	1 (一般事項) 適用範囲 [8.1.1]	<p>工事内容 [8.1.1]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・ 鉄骨プレースの設置工事 ・ 柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) ・ 柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法) ・ 柱補強工事 (連続繊維補強工法) ・ 耐震スリット新設工法 ・ 免震改修 ・ 制震改修工事 <p>工事種別 [8.1.1][8.1.2]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工調査 (施工計画調査、施工数量調査、調査のための破壊部分の補修) ・ 撤去工事 (設備機器配管及び仕上げの取り壊し、撤去 (下地の一部又は全てを含む)、構造体のはつり) ・ 鉄筋工事 ・ あと施工アンカー工事 ・ コンクリート工事 ・ 鉄骨工事 ・ グラウト工事 ・ 連続繊維補強工事 ・ 耐震スリット新設工事 ・ 免震改修 ・ 制震改修工事 ・ 土工事 ・ 地業工事 																																																																																				
		2 (施工調査) 施工計画調査 [1.2.2] [1.2.4] [1.3.1]	<p>施工計画調査 [1.2.2] [1.2.4] [1.3.1] [1.5.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>記録事項等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	項目	内容	記録事項等																																																																																	
		項目	内容	記録事項等																																																																																			
3 施工数量調査 [1.2.2] (1.2.4) (1.3.1)	<p>施工数量調査 [1.2.2] [1.2.4] [1.3.1] [1.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>記録事項等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	項目	内容	記録事項等																																																																																			
項目	内容	記録事項等																																																																																					
4 その他	※ 免震改修、制震改修に関する仕様は、図示する。																																																																																						
8	耐震改修工事	1 (既存部分の撤去等) 既存仕上げ等の撤去 [8.21.2] [8.22.2] [8.23.2] [8.25.2]	<p>既存仕上げ等の撤去 [8.21.2] [8.22.2] [8.23.2] [8.25.2]</p> <p>撤去の範囲 ※ 図示による ・ 新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分 ・ 既存コンクリート撤去範囲に面する部分</p> <p>[8.21.2] [8.22.2] [8.23.2] [8.25.2]</p> <p>既存設備機器、配管の撤去、新設、移設等の処理 本工事の範囲 ・ 本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、壁等の撤去及び処分 ※ 設備機器及び配管、壁等の撤去及び処分は本工事の範囲としない。</p> <p>撤去範囲 ※ 図示による ・ ()</p>																																																																																				
		2 既存構造体の撤去 [8.21.2] [8.22.2] [8.23.2] [8.25.2]	<p>既存構造体の撤去 [8.21.2] [8.22.2] [8.23.2] [8.25.2]</p> <p>撤去の範囲 ※ 図示による ・ ()</p> <p>撤去する既存コンクリート内にある鉄筋及び鉄骨の処理</p>																																																																																				

8	耐震改修工事	既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断 [8.21.2] [8.22.2] [8.23.2] [8.25.2]	<table border="1"> <tr> <th>鉄筋の切断</th> <th>範囲</th> <th>適用</th> </tr> <tr> <td>・ 既存鉄筋は切断せず残す</td> <td>※ 図示</td> <td>・ 全ての撤去部分 ・ 適用なし</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する</td> <td>※ 図示</td> <td>・ 全ての撤去部分 ・ 適用なし</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する</td> <td>※ 図示</td> <td>・ 残す一定の長さ ※ 継手長さ</td> </tr> </table> <p>はつり出した鉄筋の処理 ※ 鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。 ・ ()</p> <p>撤去する既存コンクリート内にある鉄骨の処理 ※ コンクリート等を除去し鉄面を露す ・ ()</p> <p>既存杭の撤去 撤去の範囲 ※ 図示による ・ () [8.28.2]</p> <p>4 (既存部分の処理) 既存構造体コンクリートの表層目荒らし [8.21.3] [8.22.3] [8.23.3]</p> <p>既存構造体コンクリートの表層目荒らし 目荒らし範囲 ※ 既存コンクリートとの打継ぎ面全面 ※ 既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充填部の接合面 ※ 図示による ・ ()</p> <p>目荒らし程度 ※ 平均深さ5~10mmで最大深さ15mm程度の凹凸を100mm間隔程度で施す ※ 図示による ・ ()</p> <p>既存杭の柱頭部等の処理 [8.28.2]</p> <p>※ 図示による ・ 処理しない</p> <p>既存杭の補強 ※ 図示による ・ 補強しない</p> <p>既存杭の健全性を確認する試験 ・ 実施する ・ 実施しない</p>	鉄筋の切断	範囲	適用	・ 既存鉄筋は切断せず残す	※ 図示	・ 全ての撤去部分 ・ 適用なし	・ コンクリート撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	※ 図示	・ 全ての撤去部分 ・ 適用なし	・ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	※ 図示	・ 残す一定の長さ ※ 継手長さ																	
		鉄筋の切断	範囲	適用																												
		・ 既存鉄筋は切断せず残す	※ 図示	・ 全ての撤去部分 ・ 適用なし																												
		・ コンクリート撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	※ 図示	・ 全ての撤去部分 ・ 適用なし																												
・ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	※ 図示	・ 残す一定の長さ ※ 継手長さ																														
1 (鉄筋工材料) 鉄筋	<p>材種 [表8.2.1] による (5.2.1) (表5.2.1) [8.2.1] [表8.2.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>径 (mm)</th> </tr> <tr> <td>・ SD295A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD345</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD390</td> <td></td> </tr> </table>	種別	径 (mm)	・ SD295A		・ SD345		・ SD390																								
種別	径 (mm)																															
・ SD295A																																
・ SD345																																
・ SD390																																
2 溶接金網	<p>鉄線の形状、網目寸法及び鉄線の径 (5.2.2) [8.2.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>鉄線の形状、網目寸法</th> <th>鉄線の径</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	鉄線の形状、網目寸法	鉄線の径																													
鉄線の形状、網目寸法	鉄線の径																															
3 (鉄筋の加工及び組立て) 鉄筋の加工及び組立て一般事項	<p>鉄筋の継手 (5.3.4) (表5.3.2) [8.3.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>接合方法</th> <th>径 (mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>・ 重ね継手 ※ ガス圧接</td> <td>※ D19以上 ・ ()</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>※ 重ね継手 ・ ガス圧接</td> <td>※ D16以下 ・ ()</td> </tr> </table> <p>帯筋の組立ての形状の種類 (各部配筋参考図 2.2) [8.3.4] [図8.3.4] ※ H形 ・ () ※ W-I形 W-II形 W-III形</p> <p>あばら筋の種類、径及び間隔 (各部配筋参考図 3.2) ※ 図示 ・ ()</p> <p>壁の配筋の種類 (各部配筋参考図 4.1) [8.3.7] ※ 図示による ・ ()</p> <table border="1"> <tr> <th>壁配筋の定着長さ</th> <th>範囲</th> </tr> <tr> <td>定着</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>※ 定着部図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ 定着長さ (L2)</td> <td>・ 定着部を図示した範囲以外全て</td> </tr> </table> <p>一般壁の開口部補強 [8.3.7] (各部配筋参考図 4.4) ※ 図示による</p> <p>耐震壁の開口部補強 ・ A形 ・ B形 ※ 図示による</p>	部 位	接合方法	径 (mm)	柱、梁の主筋	・ 重ね継手 ※ ガス圧接	※ D19以上 ・ ()	その他	※ 重ね継手 ・ ガス圧接	※ D16以下 ・ ()	壁配筋の定着長さ	範囲	定着	※ 図示	※ 定着部図示	※ 図示	・ 定着長さ (L2)	・ 定着部を図示した範囲以外全て														
部 位	接合方法	径 (mm)																														
柱、梁の主筋	・ 重ね継手 ※ ガス圧接	※ D19以上 ・ ()																														
その他	※ 重ね継手 ・ ガス圧接	※ D16以下 ・ ()																														
壁配筋の定着長さ	範囲																															
定着	※ 図示																															
※ 定着部図示	※ 図示																															
・ 定着長さ (L2)	・ 定着部を図示した範囲以外全て																															
8	耐震改修工事	8の3	鉄筋工事	1 (現場打ちコンクリート) 壁の増設工事及び鉄骨プレースの設置工事等) 割製補強筋 [8.21.6] [8.22.7]	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材 料</th> <th>材 種</th> <th>径</th> <th>本数、ピッチ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">※ スパイラル筋</td> <td rowspan="2">※ 鉄筋コンクリート用棒鋼</td> <td>※ SR235</td> <td>※ 6φ</td> <td>スパイラルの径 (mm)</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 9φ</td> <td><</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">※ はしご筋</td> <td rowspan="2">※ 鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋)</td> <td>※ SD295A</td> <td>※ D10</td> <td>壁内方向筋</td> <td><</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>壁面外方向筋</td> <td>></td> </tr> </table>	種類	材 料	材 種	径	本数、ピッチ	適用箇所	※ スパイラル筋	※ 鉄筋コンクリート用棒鋼	※ SR235	※ 6φ	スパイラルの径 (mm)	※ 図示	・	・	・ 9φ	<	※ はしご筋	※ 鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋)	※ SD295A	※ D10	壁内方向筋	<	・	・	壁面外方向筋	>	
種類	材 料	材 種	径	本数、ピッチ	適用箇所																											
※ スパイラル筋	※ 鉄筋コンクリート用棒鋼	※ SR235	※ 6φ	スパイラルの径 (mm)	※ 図示																											
		・	・	・ 9φ	<																											
※ はしご筋	※ 鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋)	※ SD295A	※ D10	壁内方向筋	<																											
		・	・	壁面外方向筋	>																											
8	耐震改修工事	1 (コンクリート工事) 一般事項) コンクリートの種類及び強度 [6.2.2] [8.1.4]	<p>普通コンクリートの設計基準強度 (6.2.2) [8.1.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 Fc (N/mm²)</th> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 21</td> <td>・ 1種 ・ 2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ 1種 ・ 2種</td> <td></td> </tr> </table> <p>スラング値 ※ 21cm ・ ()</p> <p>軽量コンクリートの設計基準強度等 (6.2.1~2) (6.10.1~2) (表6.10.1) [8.1.3~4] [8.9.1~3] [表8.9.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 Fc (N/mm²)</th> <th>種類</th> <th>気乾単位容積質量</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 21</td> <td>・ 1種 ・ 2種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ 1種 ・ 2種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>コンクリートの荷印し地点におけるスラング値 [8.1.4] [表8.1.2] ※ 表8.1.2による ・ ()</p> <p>合板せき板を用いる場合のコンクリートの打直し仕上げ [8.1.4] [表8.1.4] ※ 図示による</p> <p>コンクリートの仕上の平たんさ [8.1.4] [表8.1.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ a種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ b種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ c種</td> <td></td> </tr> </table>	設計基準強度 Fc (N/mm ²)	種類	適用箇所	・ 21	・ 1種 ・ 2種		・	・ 1種 ・ 2種		設計基準強度 Fc (N/mm ²)	種類	気乾単位容積質量	適用箇所	・ 21	・ 1種 ・ 2種			・	・ 1種 ・ 2種			種別	適用箇所	・ a種		・ b種		・ c種	
		設計基準強度 Fc (N/mm ²)	種類	適用箇所																												
・ 21	・ 1種 ・ 2種																															
・	・ 1種 ・ 2種																															
設計基準強度 Fc (N/mm ²)	種類	気乾単位容積質量	適用箇所																													
・ 21	・ 1種 ・ 2種																															
・	・ 1種 ・ 2種																															
種別	適用箇所																															
・ a種																																
・ b種																																
・ c種																																
8	耐震改修工事	8の4	コンクリート工事	3 (場所打ちコンクリート) 壁の増設工事) シアコネクタ [8.2.4] [8.3.4]	<p>場所打ちコンクリート壁の増設に用いる既存部とのシアコネクタ [8.2.4] [8.3.4]</p> <p>種類 ※ 金属系と施工アンカーの異形筋鉄アンカー ・ 接着系と施工アンカーの異形筋鉄アンカー</p> <p>径 (mm) ※ D10 長さ (mm) ※ 増打厚度-40 ・ () 形込み深さ (mm) ※ 5d (d: シアコネクタの径) 以上 間隔 (mm) ※ 500×500</p> <p>シアコネクタとセパレーターの兼用 [8.7.8] ※ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ ()</p>																											

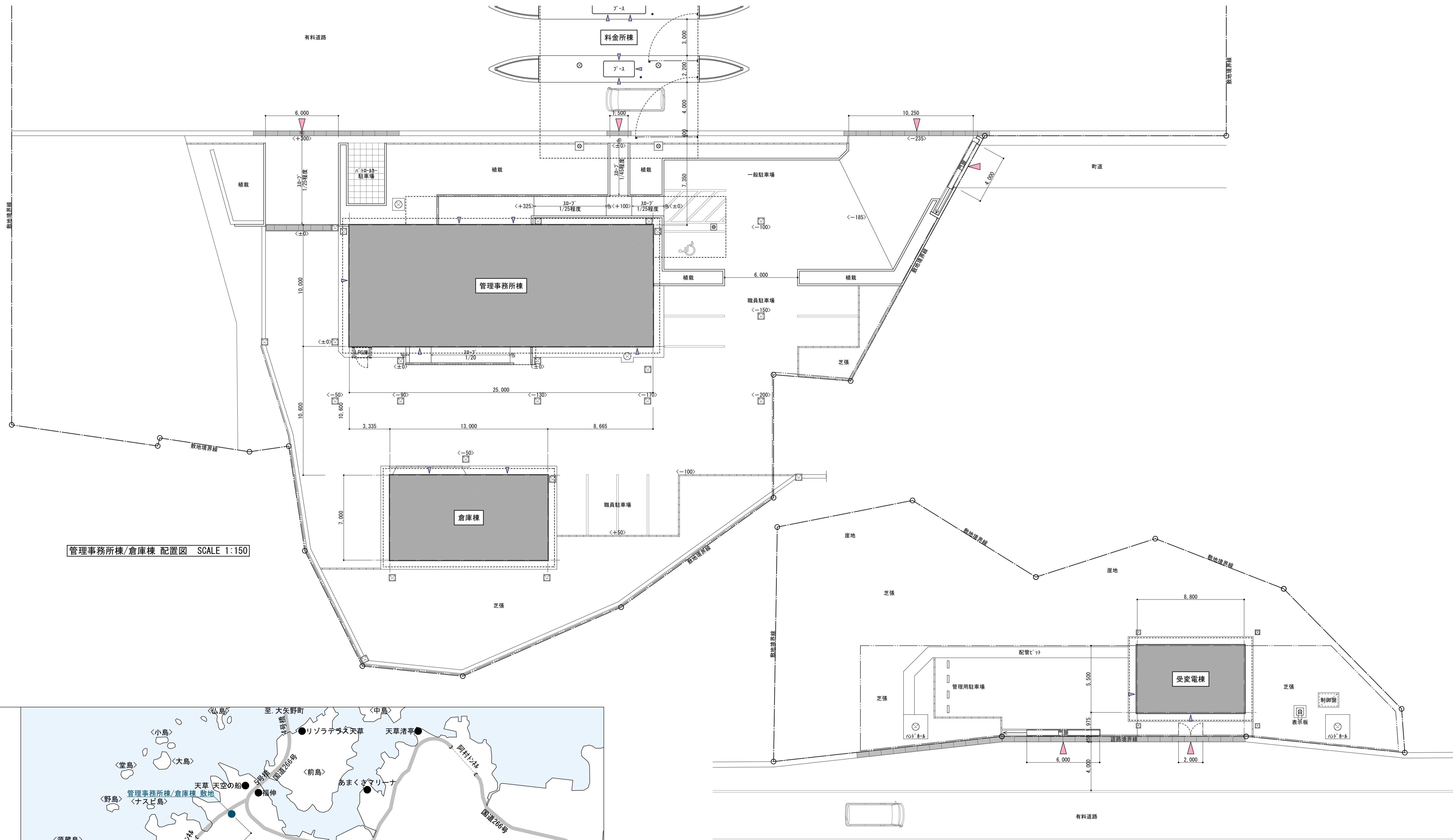
8	耐震改修工事	2 レディミクストコンクリートの類別 [表6.2.1] [表8.1.1]	<p>※ 1種 ・ 2種 (表6.2.1) [表8.1.1]</p> <p>(6.3.1) (表6.3.1) [8.2.5] [表8.2.3]</p> <p>※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・ ()</p> <p>上記普通ポルトランドセメントは、JIS R 5210 (ポルトランドセメント) に示された規定の他、右表の規定に適合しなければならない。全アルカリの算出は、JIS R 5210 ポルトランドセメント (低アルカリ形) による。</p> <table border="1"> <tr> <td>水和熱 (J/g)</td> <td>7日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>全アルカリ (%)</td> <td>0.75以下</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>塩素 (%)</td> <td>0.035以下</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>・ 高炉セメントB種 適用箇所 () [8.2.5] ・ フライアッシュセメントB種 適用箇所 () [8.2.5]</p> <p>骨材のアルカリシリカ反応性による区分 ※ A ・ B [8.2.5]</p> <p>混和剤の種類 [8.2.5]</p> <p>・ 混和剤の種類 ※ 改修仕様2.2.5(4)(a)による () ・ 混和剤の種類 ※ 改修仕様2.2.5(4)(b)による ()</p>	水和熱 (J/g)	7日	—	全アルカリ (%)	0.75以下	—	塩素 (%)	0.035以下	—
		水和熱 (J/g)	7日	—								
		全アルカリ (%)	0.75以下	—								
		塩素 (%)	0.035以下	—								
3 (普通コンクリート) 普通コンクリート	<p>部位置のコンクリートの打設工法の指定 [8.21.8] [8.23.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>補強工法</th> <th>打設工法</th> <th>部位</th> </tr> <tr> <td>場所打ちコンクリート壁の増設工事</td> <td>・ 流込み工法 [8.21.8(2)] ・ 圧入工法 [8.21.8(3)]</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示 ・ 全ての増設壁 ・ 図示 ・ 全ての増設壁 ・ 図示 ・ 図示</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法</td> <td>・ 流込み工法 [8.23.5(3)(a)] ・ 圧入工法 [8.21.8(3)]</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示 ・ 全ての増設壁 ・ 図示 ・ 全ての増設壁 ・ 図示 ・ 図示</td> </tr> </table> <p>柱頭柱脚の隙間部間の型枠 [8.23.6] ※ 発泡プラスチック保温材等を埋込む ・ ()</p> <p>柱頭柱脚の隙間寸法 ※ 図示による ・ ()</p> <p>あと打ちコンクリート又はモルタルの厚さ ※ 図示による ・ 60mm ・ ()</p>	補強工法	打設工法	部位	場所打ちコンクリート壁の増設工事	・ 流込み工法 [8.21.8(2)] ・ 圧入工法 [8.21.8(3)]	・ 全ての増設壁 ・ 図示 ・ 全ての増設壁 ・ 図示 ・ 全ての増設壁 ・ 図示 ・ 図示	鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 流込み工法 [8.23.5(3)(a)] ・ 圧入工法 [8.21.8(3)]	・ 全ての増設壁 ・ 図示 ・ 全ての増設壁 ・ 図示 ・ 全ての増設壁 ・ 図示 ・ 図示		
補強工法	打設工法	部位										
場所打ちコンクリート壁の増設工事	・ 流込み工法 [8.21.8(2)] ・ 圧入工法 [8.21.8(3)]	・ 全ての増設壁 ・ 図示 ・ 全ての増設壁 ・ 図示 ・ 全ての増設壁 ・ 図示 ・ 図示										
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 流込み工法 [8.23.5(3)(a)] ・ 圧入工法 [8.21.8(3)]	・ 全ての増設壁 ・ 図示 ・ 全ての増設壁 ・ 図示 ・ 全ての増設壁 ・ 図示 ・ 図示										
4 (場所打ちコンクリート) 壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法等	<p>1 (あと施工アンカー) あと施工アンカーの材料 [8.2.4]</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金属系 セット方式 ※ 本体打込み式 (・ 改良型 ・ 従来型) アンカー本体の径及び埋込み長さ ※ 図示 ・ () 引張耐力 ※ 図示 ・ () せん断耐力 ※ 図示 ・ () 接合部の種類、径及び長さ ※ 図示 ・ () ・ 接着系 セット方式 ※ カプセル方式 ・ () 施工方式 ※ 回転打撃式 ・ () アンカー一筋の径及び埋込み長さ ※ 図示 ・ () アンカー一筋の種類 ※ 図示 ・ () 引張耐力 ※ 図示 ・ () せん断耐力 ※ 図示 ・ () アンカー一筋の新設壁内への定着長さ ※ 図示 ・ () <p>あと施工アンカーの性能確認試験 [8.2.4] ※ 実施しない ・ 実施する 試験方法 ・ (社) 日本建築あと施工アンカー協会と施工アンカー標準試験法による ・ () 試験対象のあと施工アンカー ※ 図示による ・ () 試験数 ・ ()</p> <p>2 あと施工アンカーの施工 [8.12.7]</p> <p>確認試験方法 ※ [8.12.7] による。 () 1ロット ※ 1日に施工されたものの径及び仕様ごとによる ・ () 試験箇所数 ※ 1ロットに対し3本 ・ () 確認強度 ※ アンカーの鋼材による引張荷重、またはコンクリート破壊による引張荷重 (埋め込み及びへりあきの影響を受ける場合は低減した荷重) の小さい値の2/3とする。 (接着系の場合は、付着破壊の荷重も考慮する) ・ ()</p> <p>穿孔前の埋込み配管等の検査 [8.12.4] 方法 ※ 鉄筋探知機 (金属探知機) により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ・ はつり出しによる。 ・ ()</p>											
8	耐震改修工事	8の5	耐震改修工事	あと施工アンカー) 壁の増設工事) シアコネクタ [8.2.4] [8.3.4]	<p>3 (場所打ちコンクリート) 壁の増設工事) シアコネクタ [8.2.4] [8.3.4]</p> <p>場所打ちコンクリート壁の増設に用いる既存部とのシアコネクタ [8.2.4] [8.3.4]</p> <p>種類 ※ 金属系と施工アンカーの異形筋鉄アンカー ・ 接着系と施工アンカーの異形筋鉄アンカー</p> <p>径 (mm) ※ D10 長さ (mm) ※ 増打厚度-40 ・ () 形込み深さ (mm) ※ 5d (d: シアコネクタの径) 以上 間隔 (mm) ※ 500×500</p> <p>シアコネクタとセパレーターの兼用 [8.7.8] ※ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ ()</p>							

建築改修工事特記仕様書

熊本県道路公社

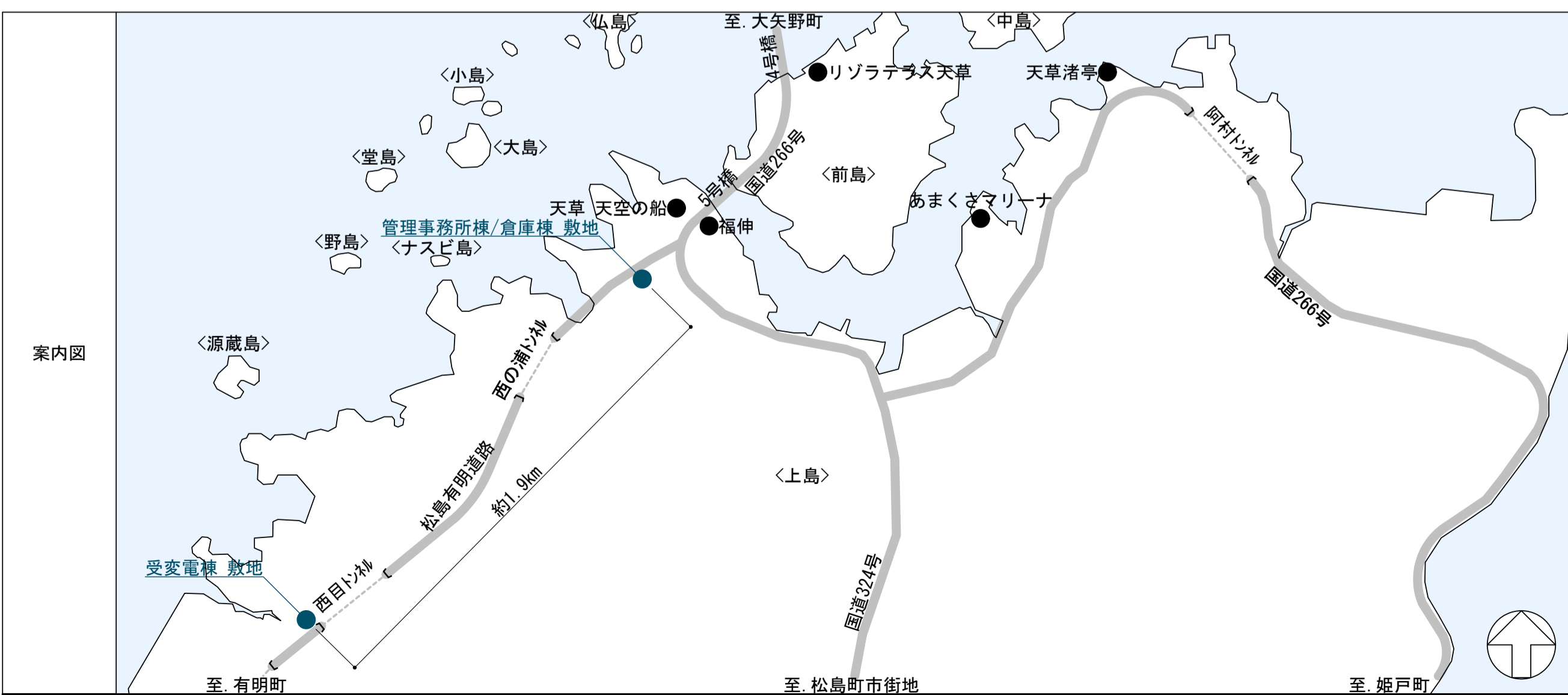
建築士事務所名	建築士事務所 熊本県 知事登録 385 号 大和設計株式会社	工事名称	松島道路管理事務所他外部改修工事
設計者氏名	一級建築士 大臣 登録第 298678 号 管理建築士 藤本 国範 印	図面名称	熊本県建築改修工事特記仕様書 (その4) 図面番号 A04

R5.3.17改定



管理事務所棟/倉庫棟 配置図 SCALE 1:150

受変電棟 配置図 SCALE 1:150



凡例		メッシュ		コンクリート製縁石		雨水排水		Y軸		X軸	
	敷地への出入口 位置を示す		メッシュを示す [管理事務所棟・倉庫棟敷地]H=1.800 / [受変電棟敷地]H=1.200		コンクリート製縁石 を示す 100x150x600		雨水排水 位置を示す	1	2	3	...
	建物への出入口 位置を示す										
	$\langle \pm \dots \rangle$ 基準点に対する地盤高 を示す										
	工事対象建物 を示す										
	建物の屋根5% を示す										

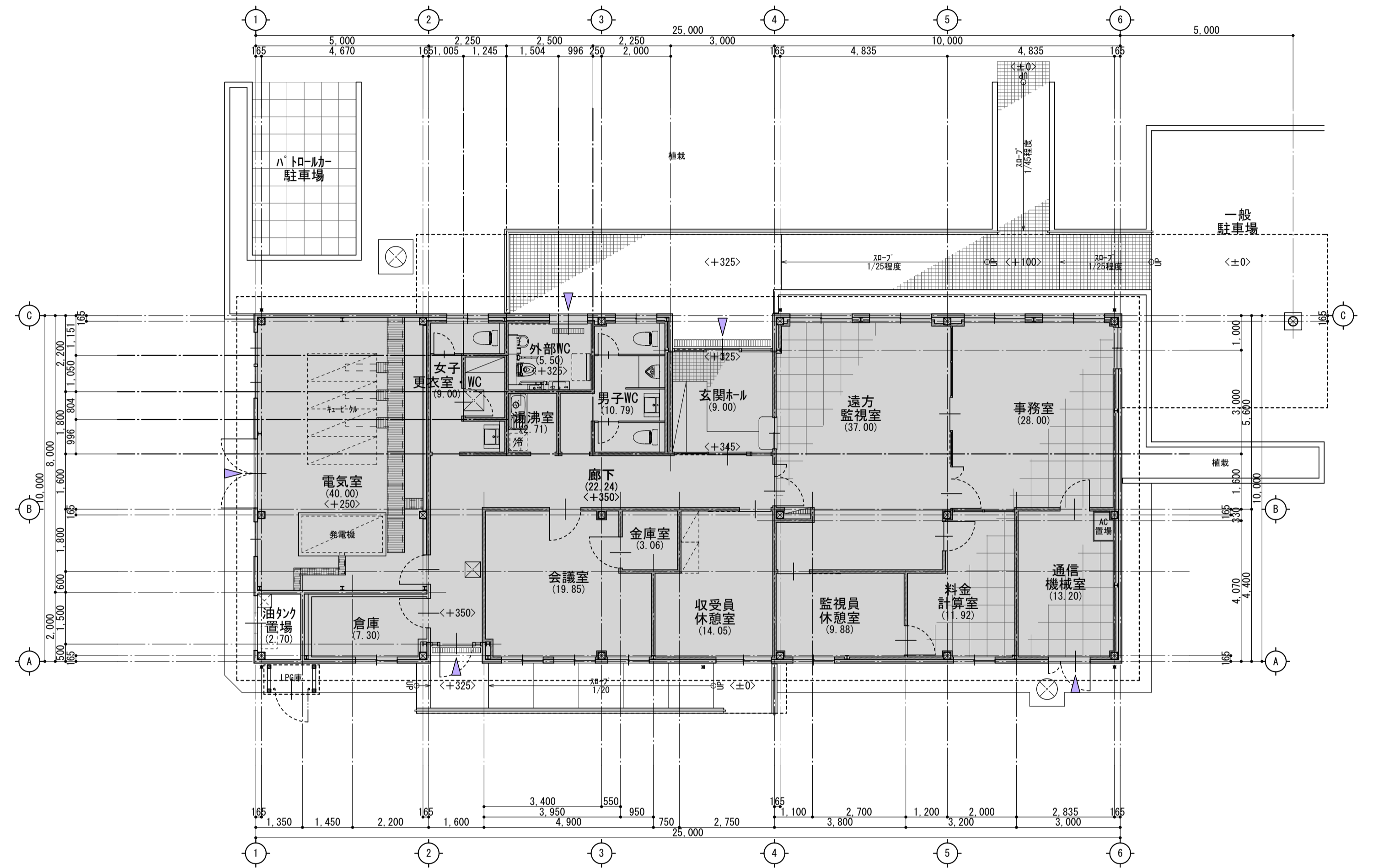
工事概要表. Columns: 項目, 内容, 項目, 内容, 共通事項, 防火/耐火仕様/不燃材料認定番号, シーリング材適正箇所表, 塗装略号表. Includes details for construction items, fire ratings, and material specifications.

外部仕上表. Table detailing exterior finishes for Management Office, Warehouse, and Power Room. Columns include location, existing/modified conditions, and material specifications.

内部仕上表. Large table detailing interior finishes for various rooms. Columns include room name, usage, construction details, and material specifications. Includes a large diagonal watermark.

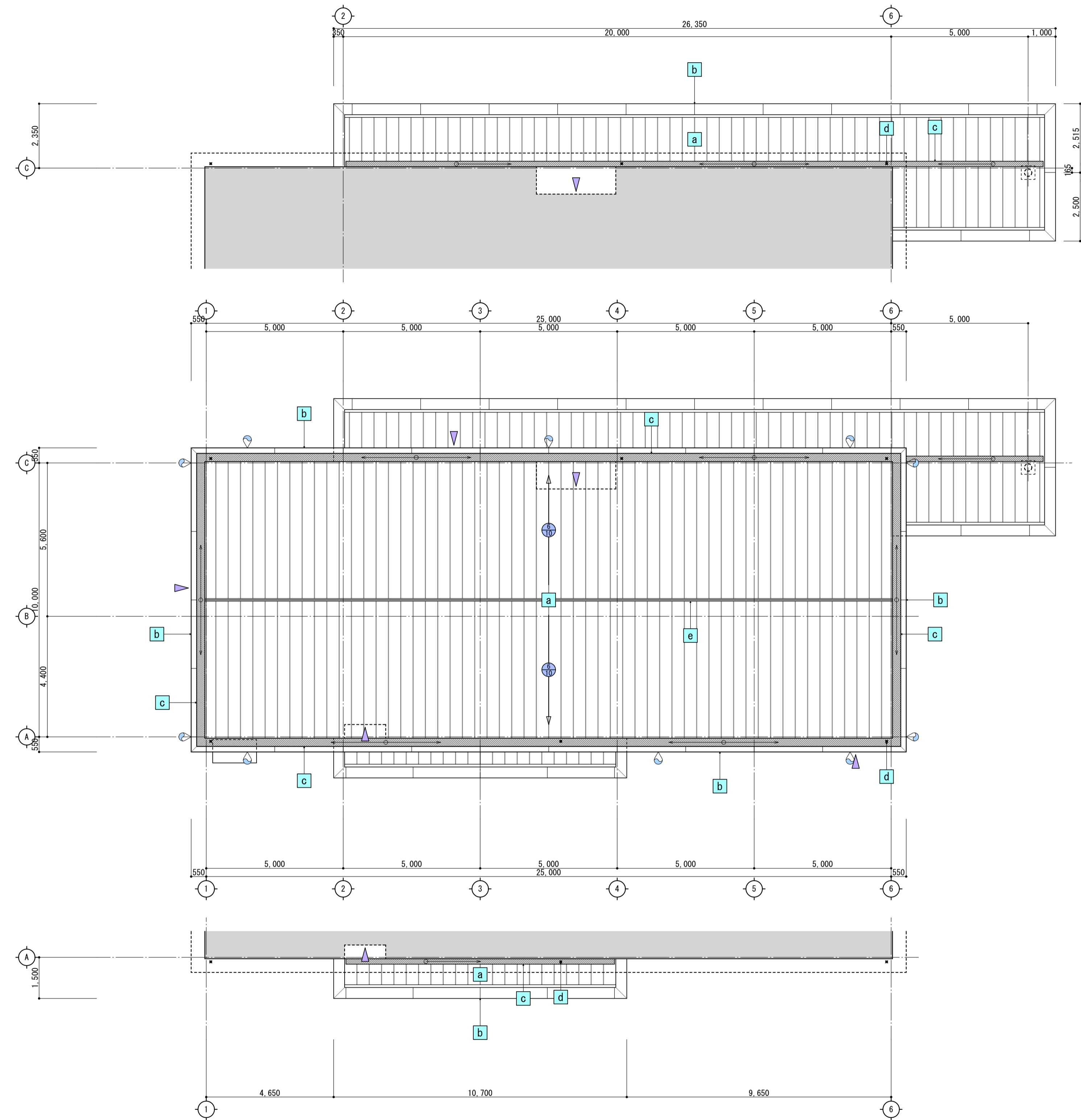


既存 平面図 SCALE 1:100



改修後 平面図 SCALE 1:100

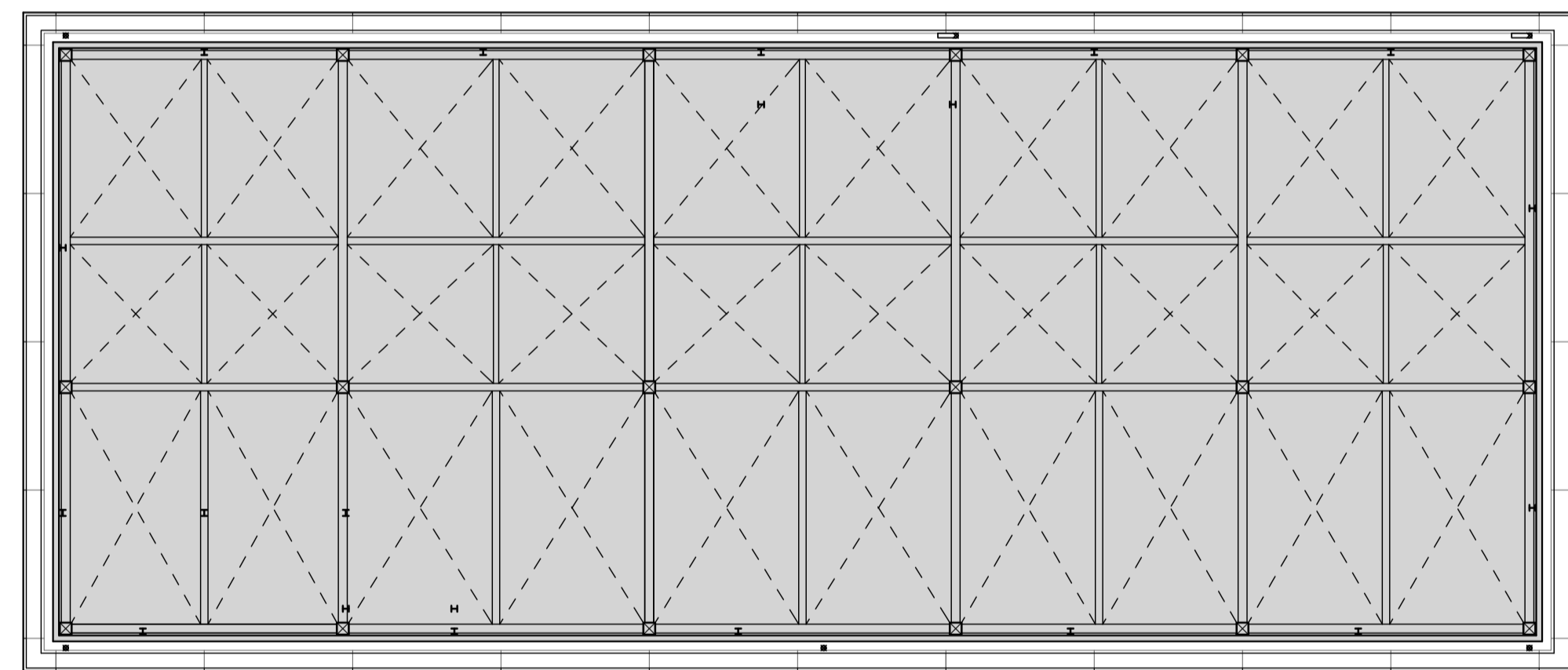
凡例		建物への出入口 位置を示す		RC造壁 を示す		外気 位置を示す S: 突出型室名札 / F: 平付型室名札 / P: 平付型C'外付型		改修 建具番号を示す(建具表参照)												
		各室の床面積 を示す		S造壁 を示す		電気盤 位置を示す														
		基準QLに対する床高 を示す		LGS造壁 を示す		消火器 位置を示す														
		地下ピット 部分を示す		CB造壁 を示す		内部改修は別途工事														
		床下点検口 を示す SUS製450x450 / SUS製600x600		W造壁 を示す																
大和設計株式会社 DAIWA SEKKEI LTD.		〒860-0001 熊本県熊本市中央区千歳城町3番15号アークビル1階 一般建築士事務所 熊本県知事登録 第385号 代表取締役 八木 嘉浩 管理建築士 藤本 国範 一般建築士 大臣登録 第298678号			PROJECT TITLE 松島道路管理事務所他外部改修工事			CHECK 樹木野 崇 一般建築士 大臣登録 第339119号		DATE 2023.03		DRAWING TITLE <管理事務所棟> 既存/改修後 平面図			SCALE A1>1:100 A3>1:200		NO. A09			



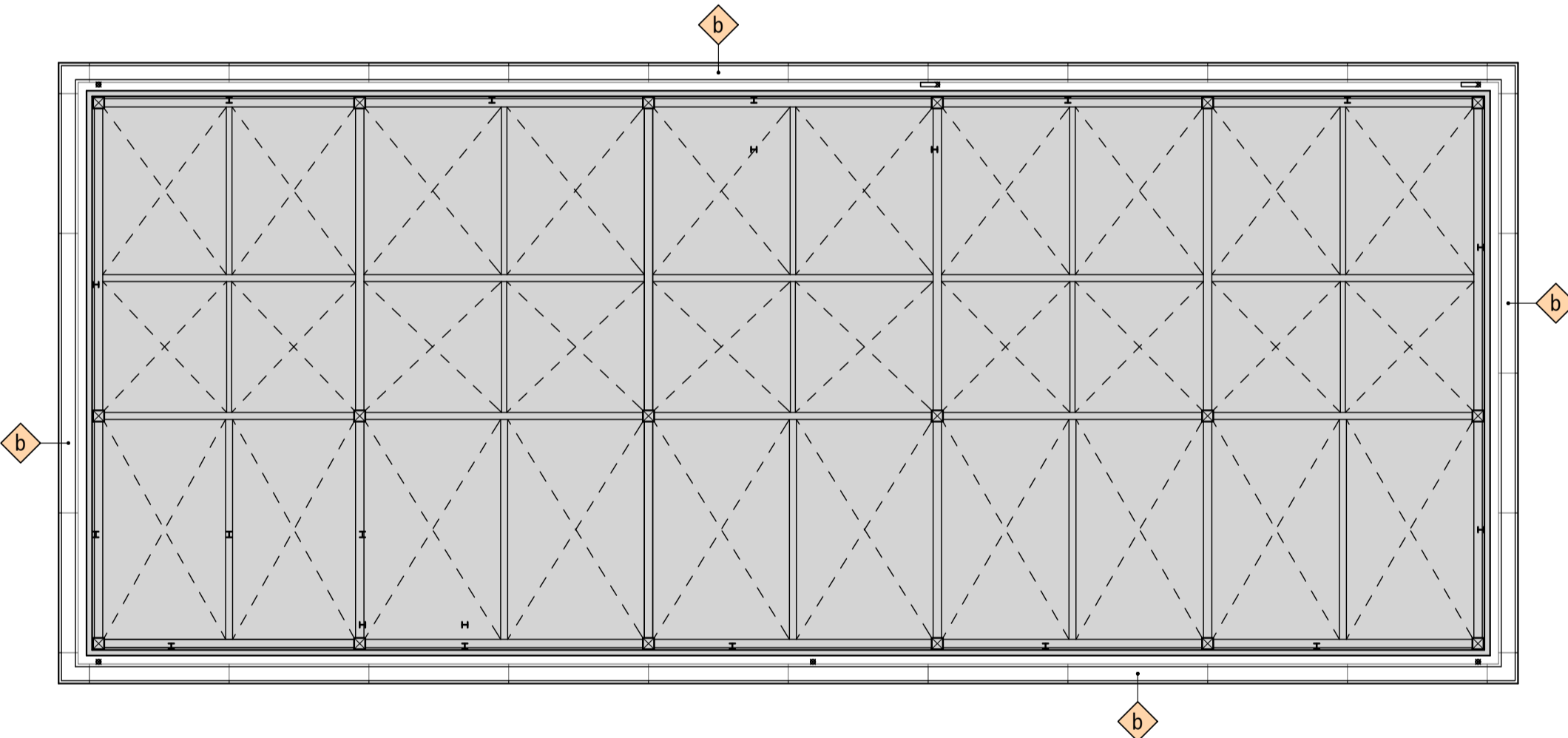
屋根伏図 SCALE 1:100

凡例		部位	既存	処理	改修後
▲	建物への出入口 位置を示す	a	屋根 ゴ-77A-フック 貼+カラーガルバリウム鋼板 (7ヶ所塗装) t=0.6特製発泡断熱	高圧洗浄 下地調整PB種	低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系 屋根用塗料
⊕	屋根勾配を示す	b	笠木 7A2PL (特+焼付) t=2.0曲げ加工 [上層]W=200 / [下層]W=400	高圧洗浄 下地調整PB種	DP-1
○	オゴ-77-管 位置を示す SUS製 φ30	c	谷種 谷φ4W=200+SUS製ワケ-フックφ25 (脱着式)	高圧洗浄	ワケ-ム専用耐酸被覆鋼板 (ワケ-ム)
		d	落し口 塩ビ製 φ75	-	-
		e	棟包 屋根同材	高圧洗浄 下地調整PB種	低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系 屋根用塗料

大和設計株式会社 <small>DAIWA SEKKEI LTD.</small>	<small>〒860-0001 熊本県熊本市中央区千歳城町3番15号アークビル1階 一級建築士事務所 熊本県知事登録 第385号 代表取締役 八木 嘉浩 管理建築士 藤本 国範 一級建築士 大臣登録 第298678号</small>	PROJECT TITLE 松島道路管理事務所他外部改修工事	CHECK 樹木野 崇 一級建築士 大臣登録 第339119号	DATE 2023.03	DRAWING TITLE <管理事務所棟> 屋根伏図	SCALE A1>1:100 A3>1:200 A10	NO. A10
---	--	--	--	------------------------	--	---------------------------------------	-------------------



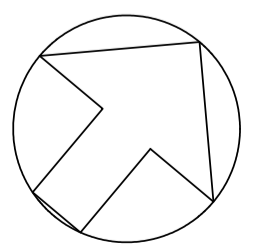
既存 天井伏図 SCALE 1:100

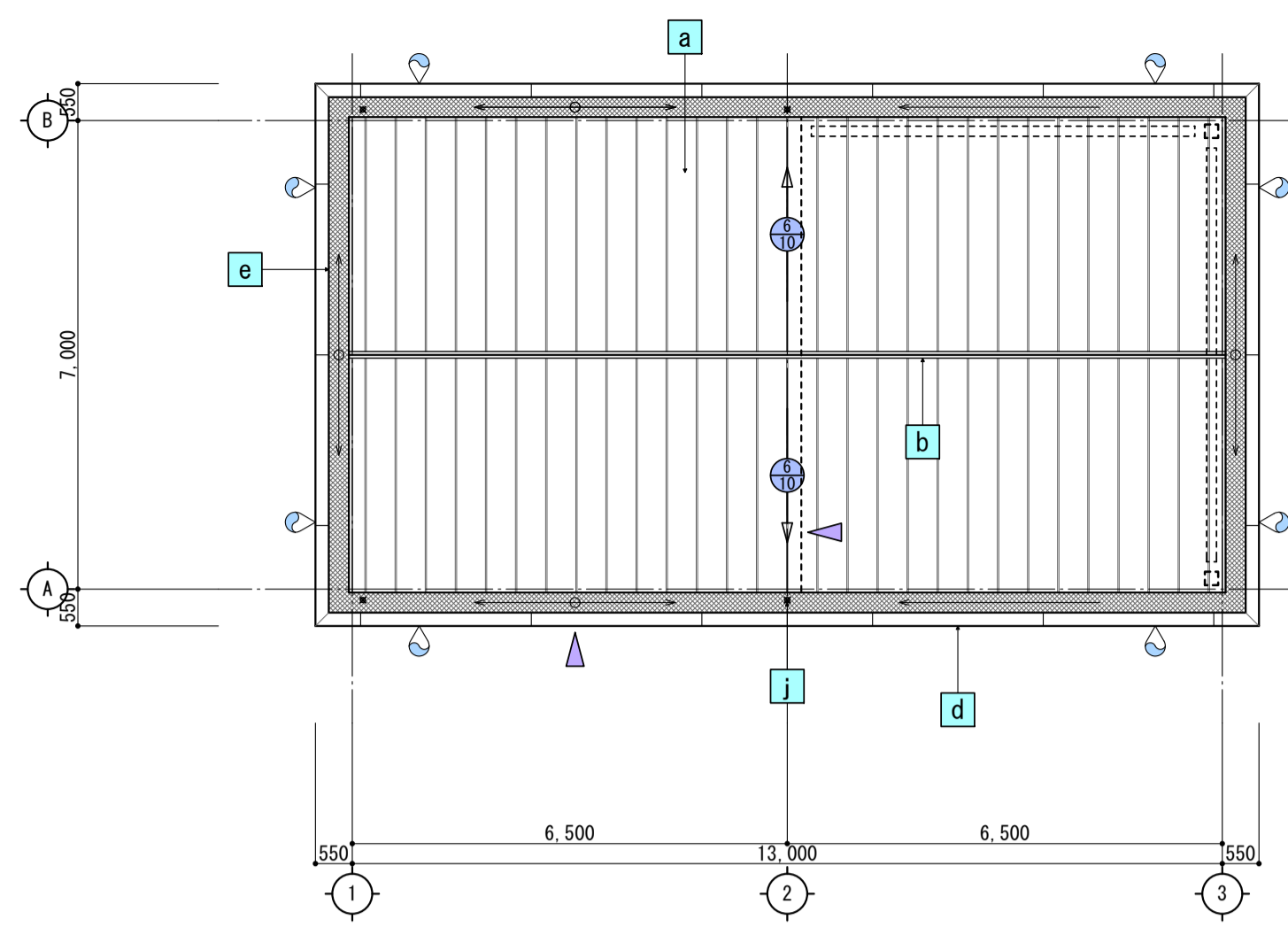


改修後 天井伏図 SCALE 1:100

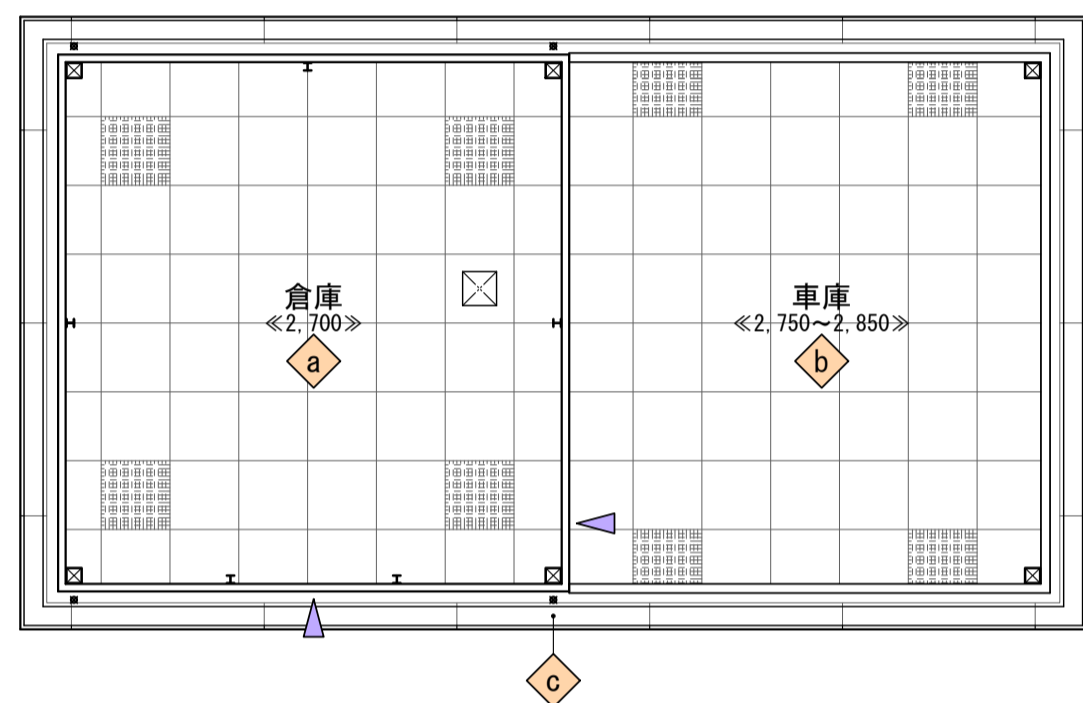
凡例	記号	部位	既存	処理	改修後	部位	既存	処理	改修後	部位	既存	処理	改修後
	▼	建物への出入口 位置を示す	◇a	LGS25形天井下地+ｶﾞｰﾌﾙｽｽﾞﾊﾞﾝﾄﾞﾄﾞﾙﾄﾞﾙ張(ｸﾞﾗｯﾌ) 一部ﾊﾞﾝﾄﾞﾙ張	下地調整R8種	DP-1							
<***>	各室FLに対する天井高 を示す	◇b	LGS25形天井下地+ﾌﾙｽﾞPL(ｶﾞｰﾌﾙ) t=2.0曲げ加工	下地調整R8種	DP-1								
⊠	天井点検口 を示す ﾌﾙｽﾞ製600x600	◇c		屋根材現し	NAD								
㊦	ﾌﾗｲﾄﾞﾊﾞｯｼﾞ を示す ｼｬｰﾋﾞｰ製ﾌﾗｲﾄﾞﾊﾞｯｼﾞ t=25 (W150xH150)+OP塗装	◇d	LGS19形天井下地+ｲﾝｼﾞｰﾄﾞ t=6.0目隠し張+EPG塗装	下地調整R8種	EP								
■	内部改修は別途工事												

大和設計株式会社 <small>DAIWA SEKKEI LTD.</small>	<small>〒860-0001 熊本県熊本市中央区千歳城町3番15号アークビル1階 一級建築士事務所 熊本県知事登録 第385号 代表取締役 八木 高浩 管理建築士 藤本 国範 一級建築士 大臣登録 第298678号</small>	PROJECT TITLE 松島道路管理事務所建物その他改修工事	CHECK 樹木野 崇 一級建築士 大臣登録 第339119号	DATE 2023. 03	DRAWING TITLE <管理事務所棟> 既存/改修後 天井伏図	SCALE A1>1 : 100 A3>1 : 200	NO. A12
---	--	--	--	-------------------------	---	---------------------------------------	-------------------

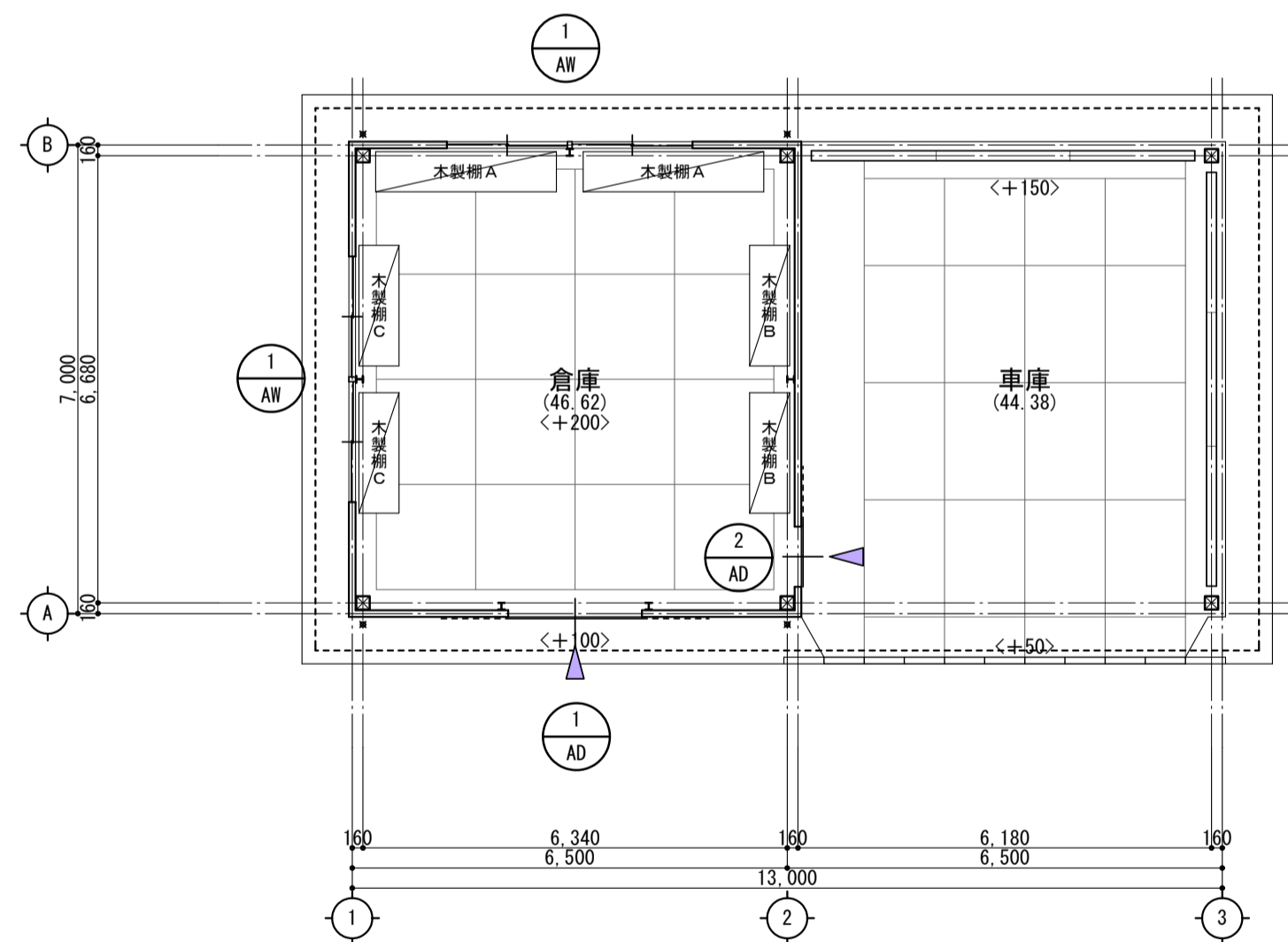




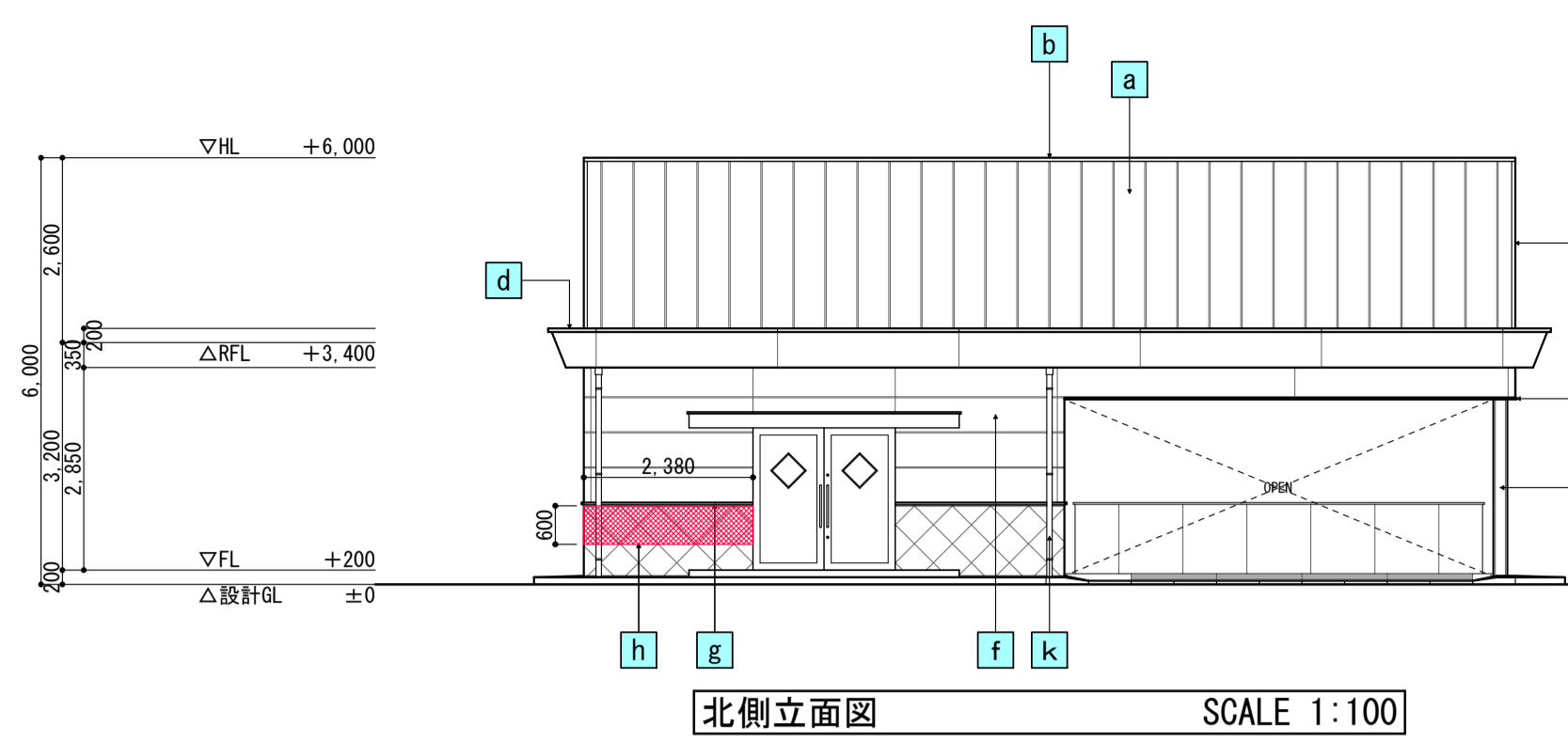
屋根伏図 SCALE 1:100



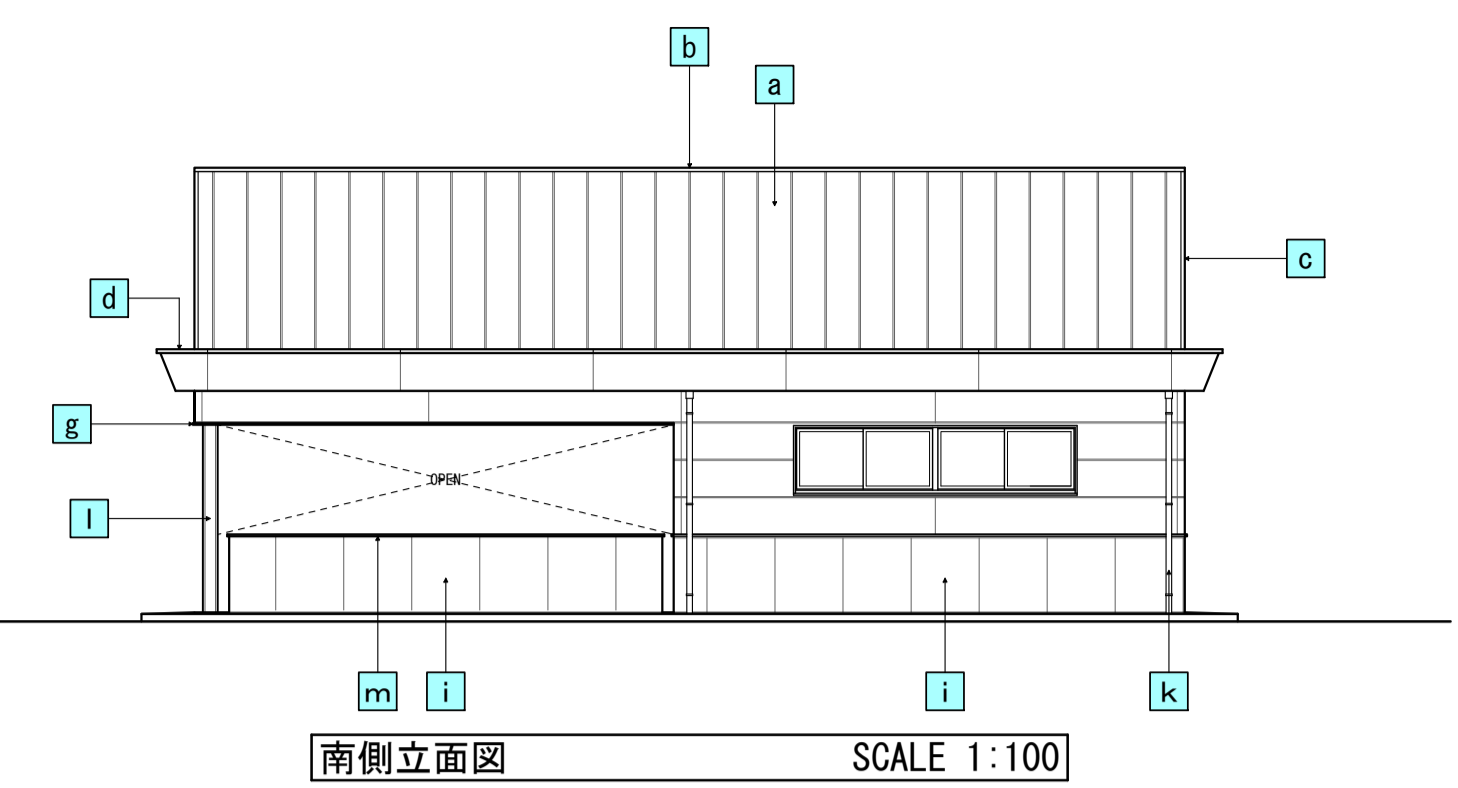
天井伏図 SCALE 1:100



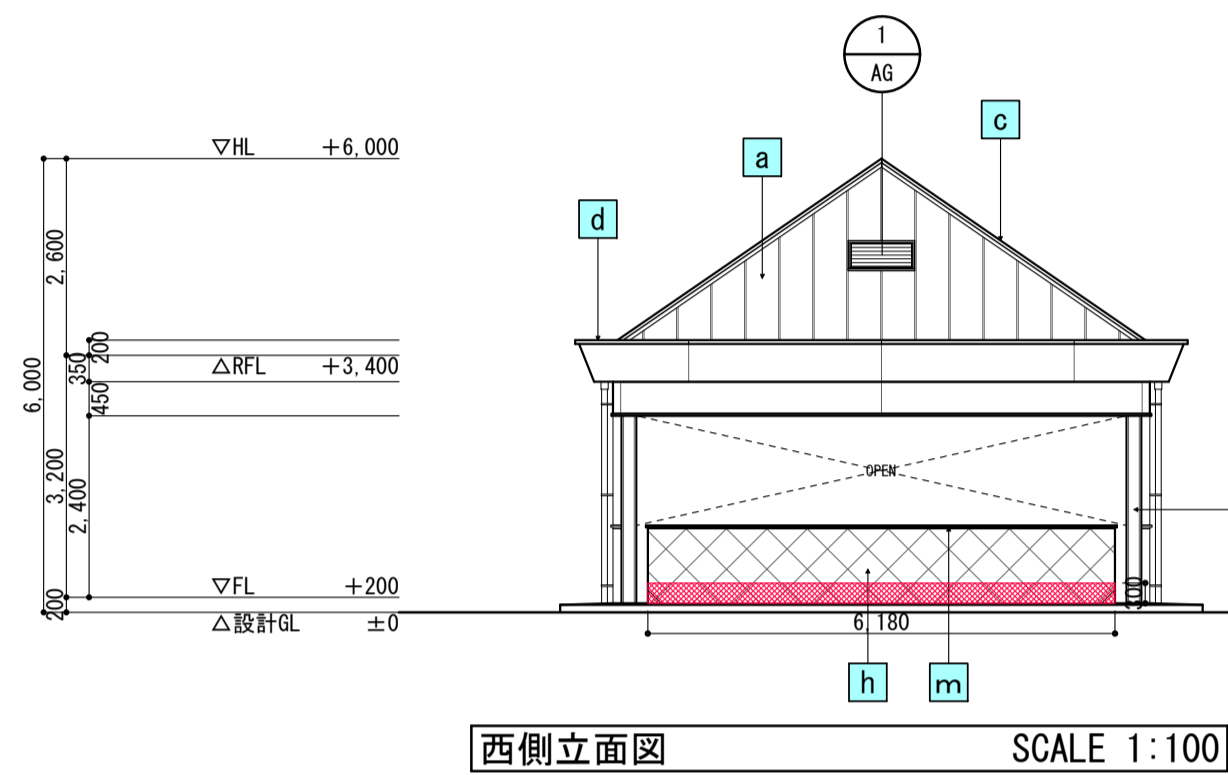
平面図 SCALE 1:100



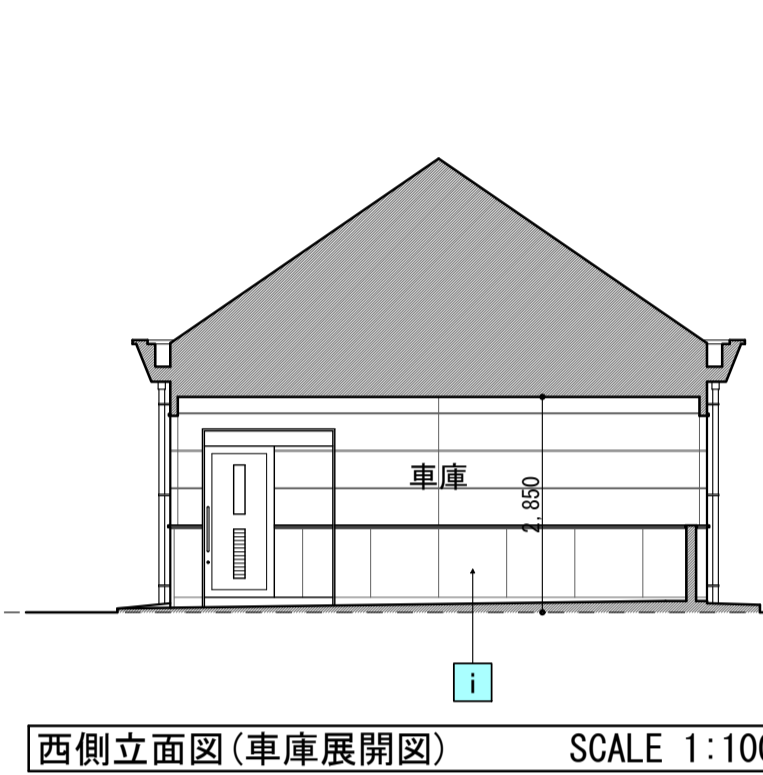
北側立面図 SCALE 1:100



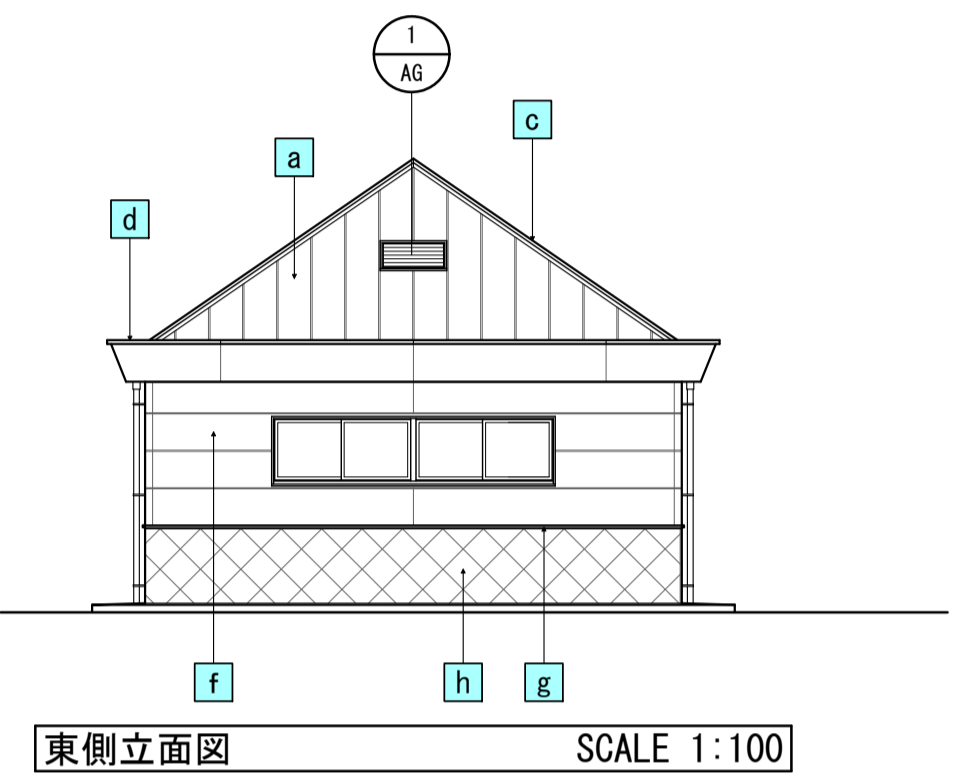
南側立面図 SCALE 1:100



西側立面図 SCALE 1:100



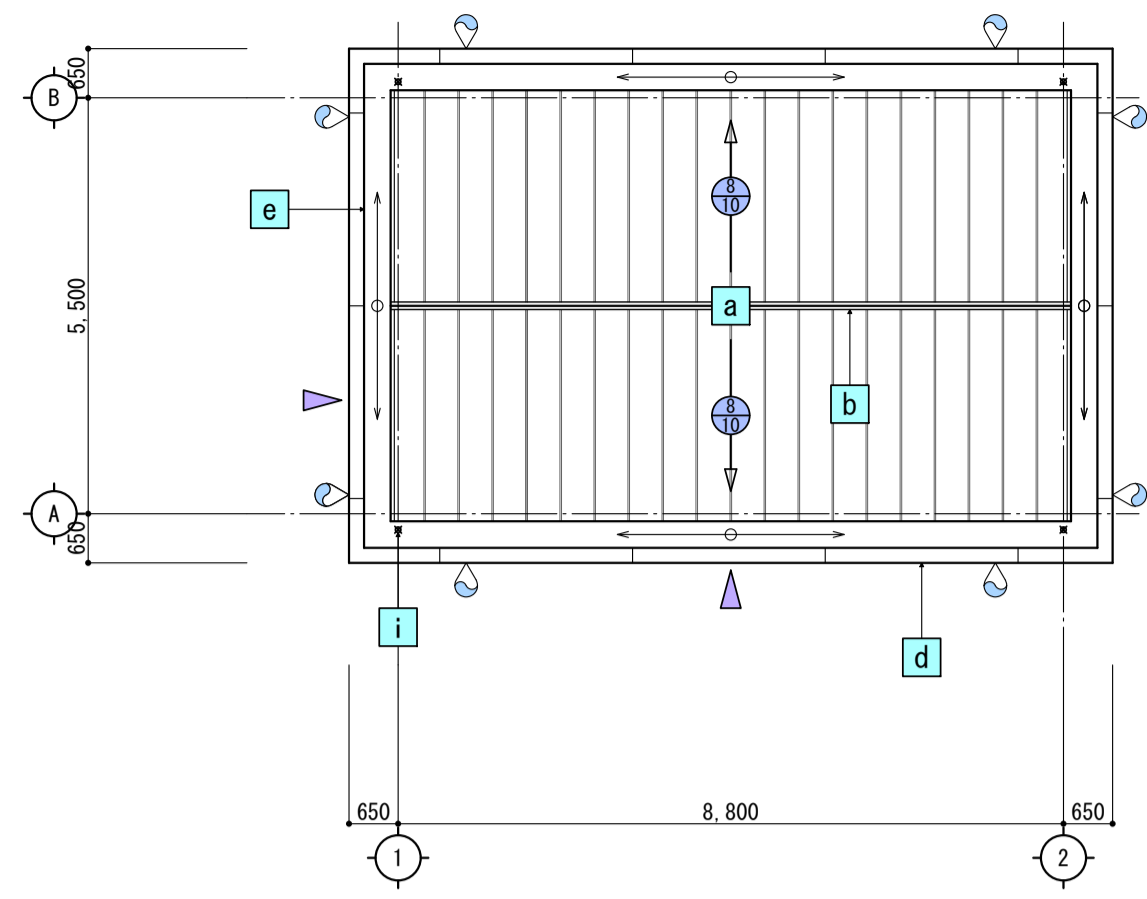
西側立面図(車庫展開図) SCALE 1:100



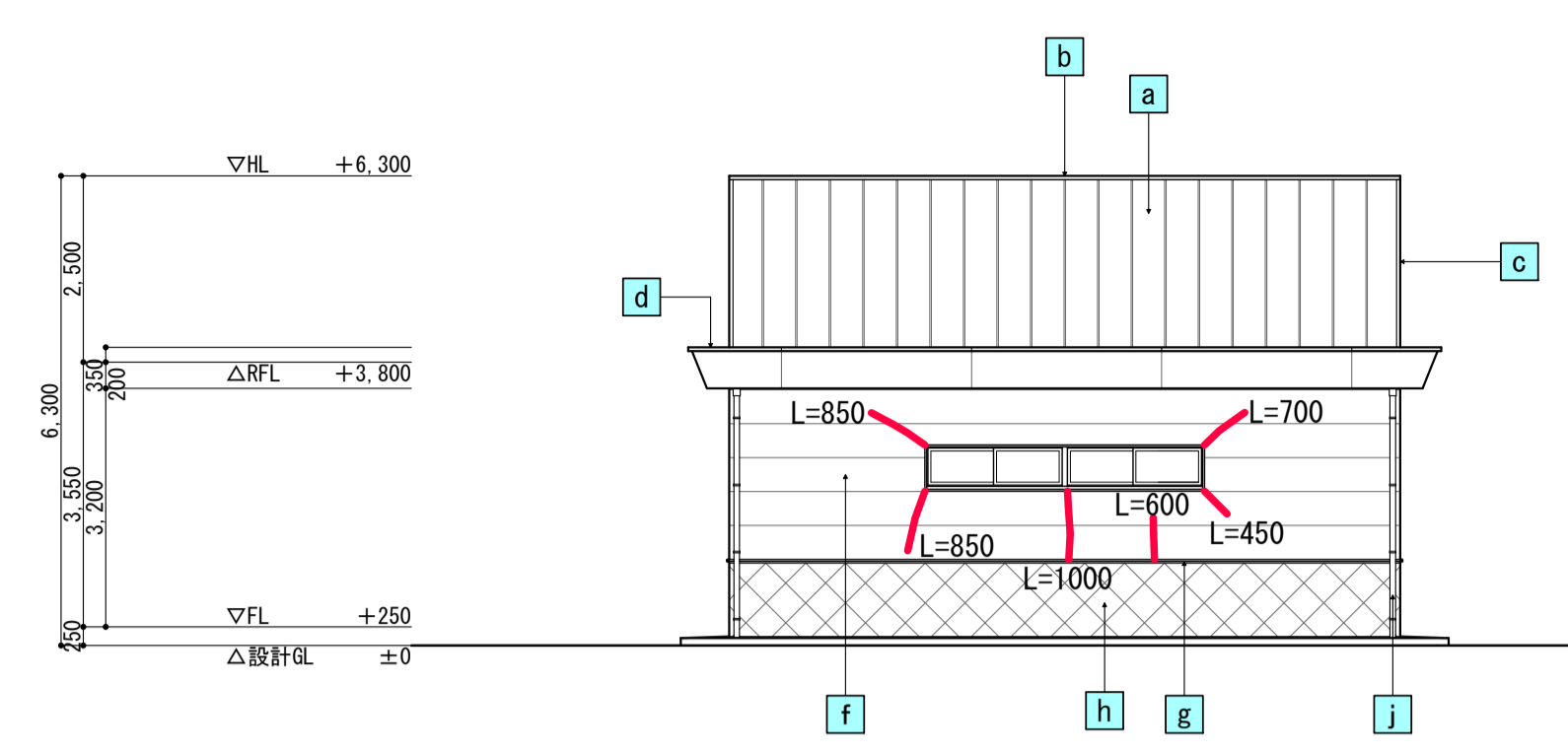
東側立面図 SCALE 1:100

建具表 SCALE 1:50		1 7F&製心ガ-式ドア		2 7F&製心ガ-式ドア		1 7F&製引違い窓		1 7F&製ガラ	
場所		倉庫		倉庫		倉庫		屋根妻側	
※		【建具廻シリンク 打替】		【建具廻シリンク 打替】		【建具廻シリンク 打替】		【建具廻シリンク 打替】	
個数	1	1	1	2	2	2	2	2	2
仕上	電解二次発色(スチルナ)	電解二次発色(スチルナ)	SUS握り棒	電解二次発色(スチルナ)	SUS握り棒	電解二次発色(スチルナ)	SUS握り棒	電解二次発色(スチルナ)	SUS握り棒
金物	SUS握り棒	SUS握り棒	スチルナ	SUS握り棒	スチルナ	スチルナ	スチルナ	スチルナ	スチルナ
硝子	網入り型ガラス	網入り型ガラス	網入り型ガラス	網入り型ガラス	網入り型ガラス	網入り型ガラス	網入り型ガラス	網入り型ガラス	網入り型ガラス
備考	見込み 70mm SUS留替	見込み 70mm SUS留替	見込み 70mm SUS留替	見込み 70mm 内外7F&製縁	見込み 100mm(1/2) (1/2) 水切り 内外7F&製縁				

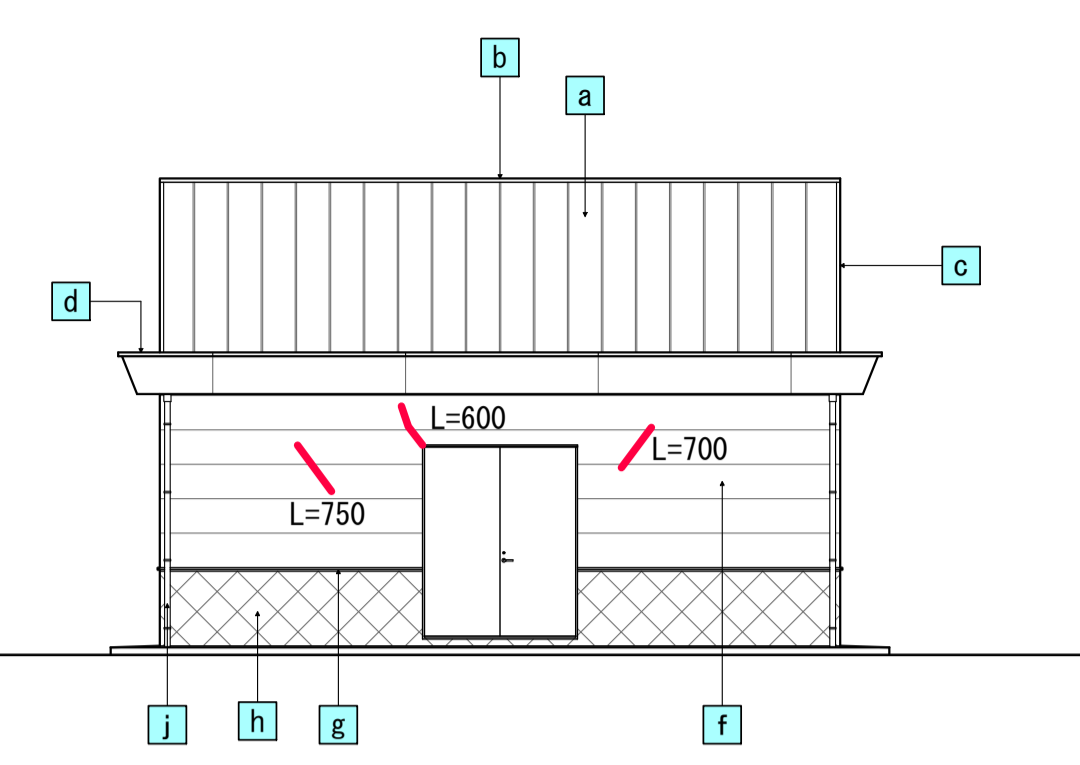
凡例	記号	部位	既存	処理	改修後	部位	既存	処理	改修後	部位	既存	処理	改修後
	▲	建物への出入口 位置を示す	a	LGS19形天井下地+付加板t=6.0目隠し張+EPG塗装 有孔付加板	—	—	a	屋根	7F&製心ガ-式ドア	高圧洗浄 下地調整RB種	低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系 屋根用遮熱塗料	j	落し口
(***)	各室の床面積を示す	b	LGS25形天井下地+付加板t=8.0目隠し張+VP塗装 有孔付加板	下地調整RB種	EP	b	標包	7F&製心ガ-式ドア	高圧洗浄 下地調整RB種	低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系 屋根用遮熱塗料	k	壁礎	7F&製心ガ-式ドア
<±***>	基準QLに対する床高を示す	c	LGS25形天井下地+7F&製心ガ-式ドア(焼付)t=2.0曲げ加工	下地調整RB種	DP-1[ふっ素樹脂系]	c	付加板	7F&製心ガ-式ドア	高圧洗浄 下地調整RB種	低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系 屋根用遮熱塗料	l	独立柱	鉄骨口-200x200x12(消融亜鉛メッキ仕上)
<***>	各室FLに対する天井高を示す					d	空木	7F&製心ガ-式ドア	高圧洗浄 下地調整RB種	DP-1[ふっ素樹脂系]	m	天端	7F&製心ガ-式ドア
—	S造壁を示す					e	谷	7F&製心ガ-式ドア	高圧洗浄	7F&製心ガ-式ドア			
←	屋根勾配を示す					f	外壁	中空押出成型板t=75張+VP塗装	高圧洗浄 下地調整RB種	防水形複層塗材E			
○	パイプ位置を示す					g	水切	7F&製心ガ-式ドア	下地調整RB種	DP-1[ふっ素樹脂系]			
⊗	天井点検口を示す					h	壁壁	中空押出成型板t=60張(9/4下地用) +合澤石t=20接着貼	高圧洗浄 目地シリンク[撤去]	目地シリンク打替(MS-2 15x20)			
●	消火器 位置を示す					i	壁壁	コック打放(化粧目地φ90)+撥水材吹付	高圧洗浄	浸透性吸水防止剤[付]			



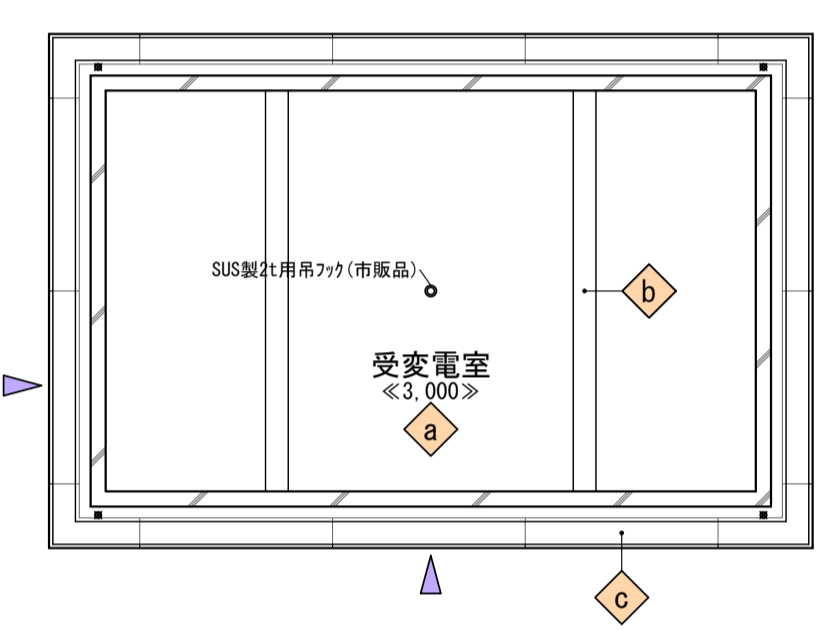
屋根伏図 SCALE 1:100



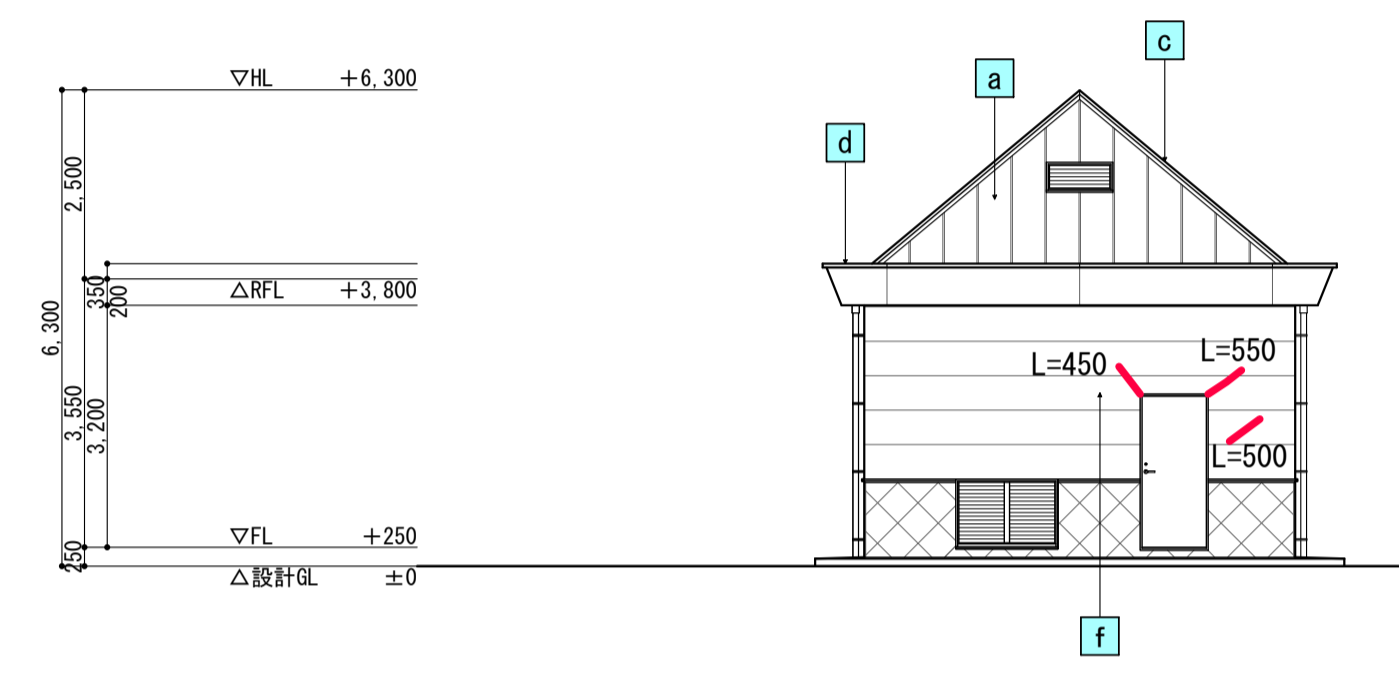
北側立面図 SCALE 1:100



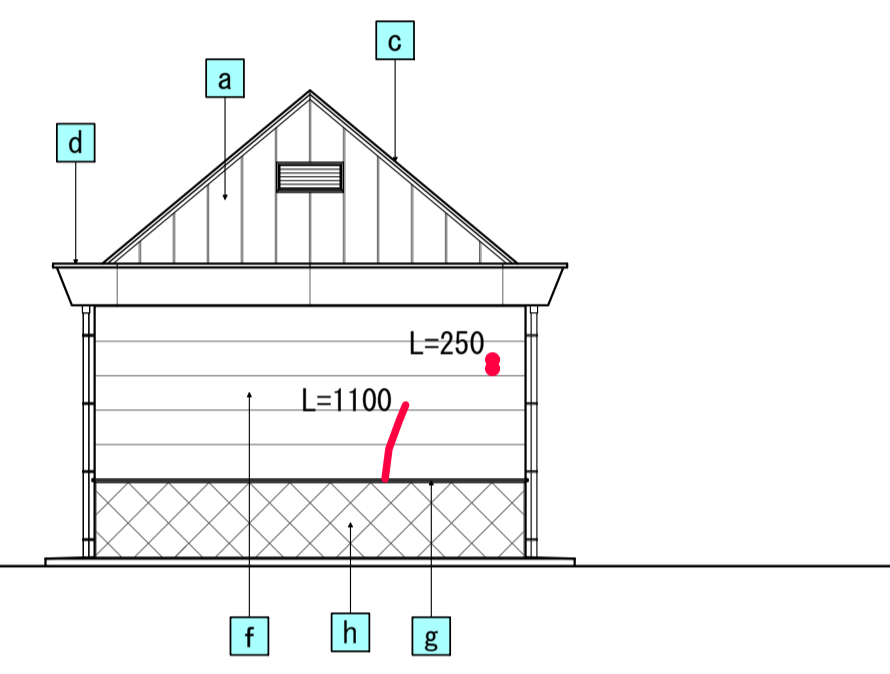
南側立面図 SCALE 1:100



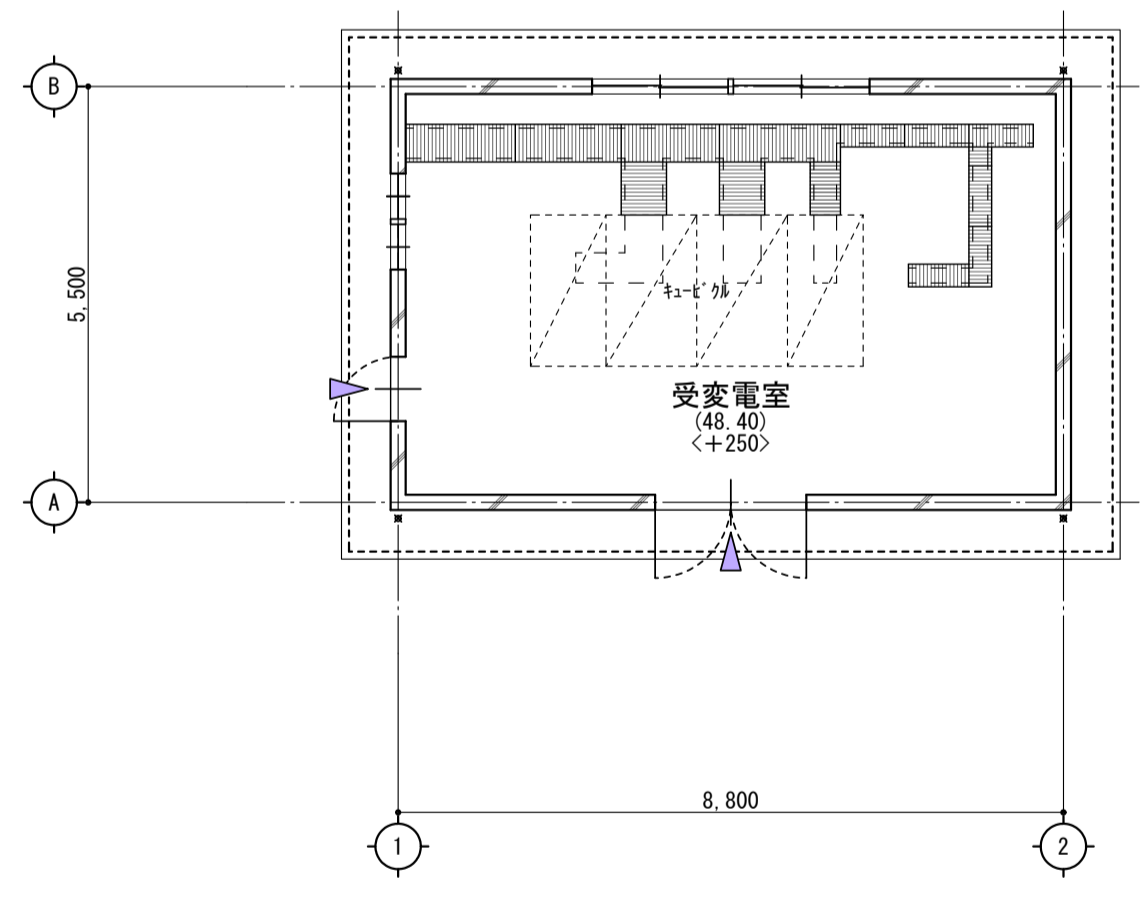
天井伏図 SCALE 1:100



西側立面図 SCALE 1:100



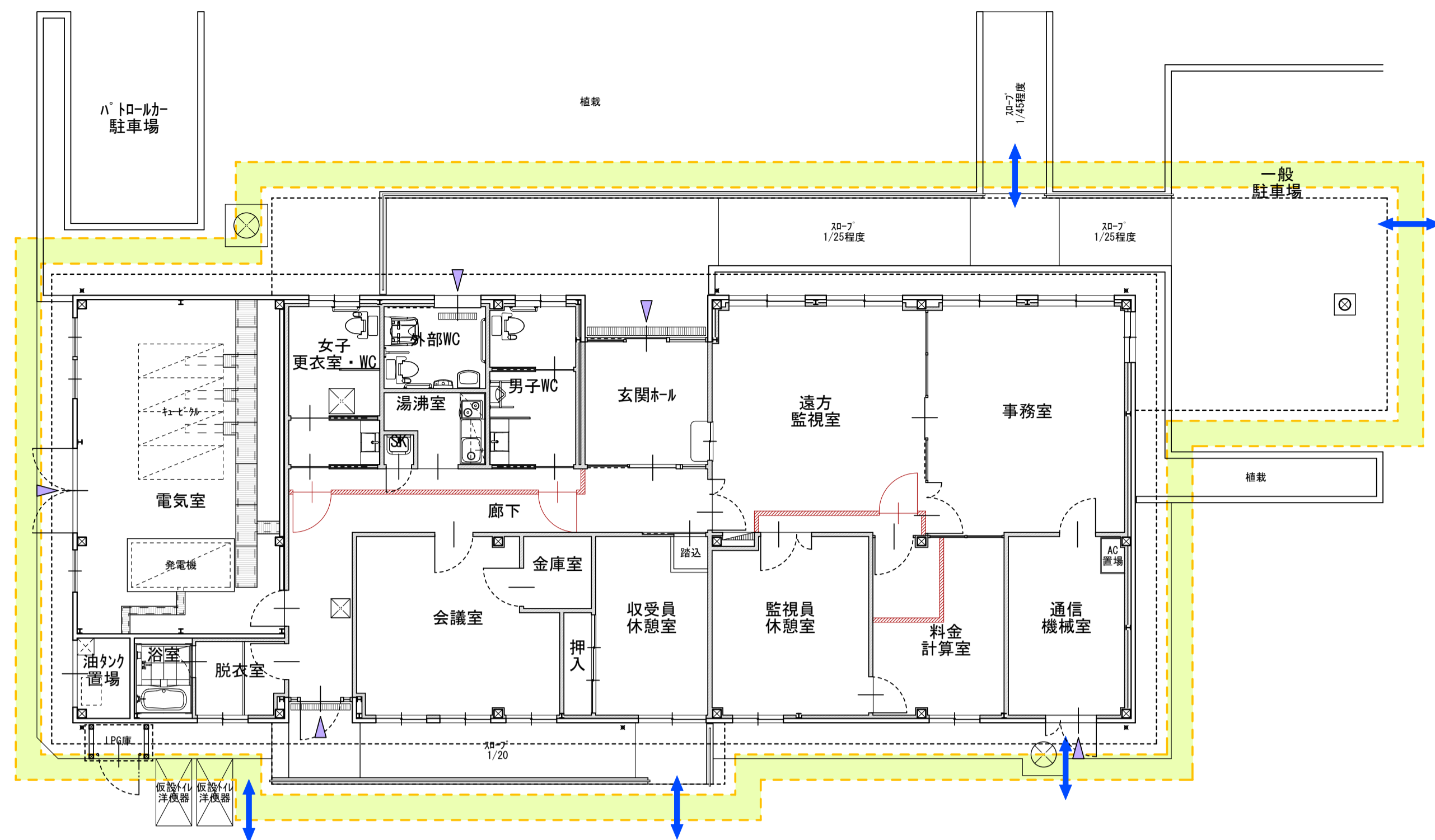
東側立面図 SCALE 1:100



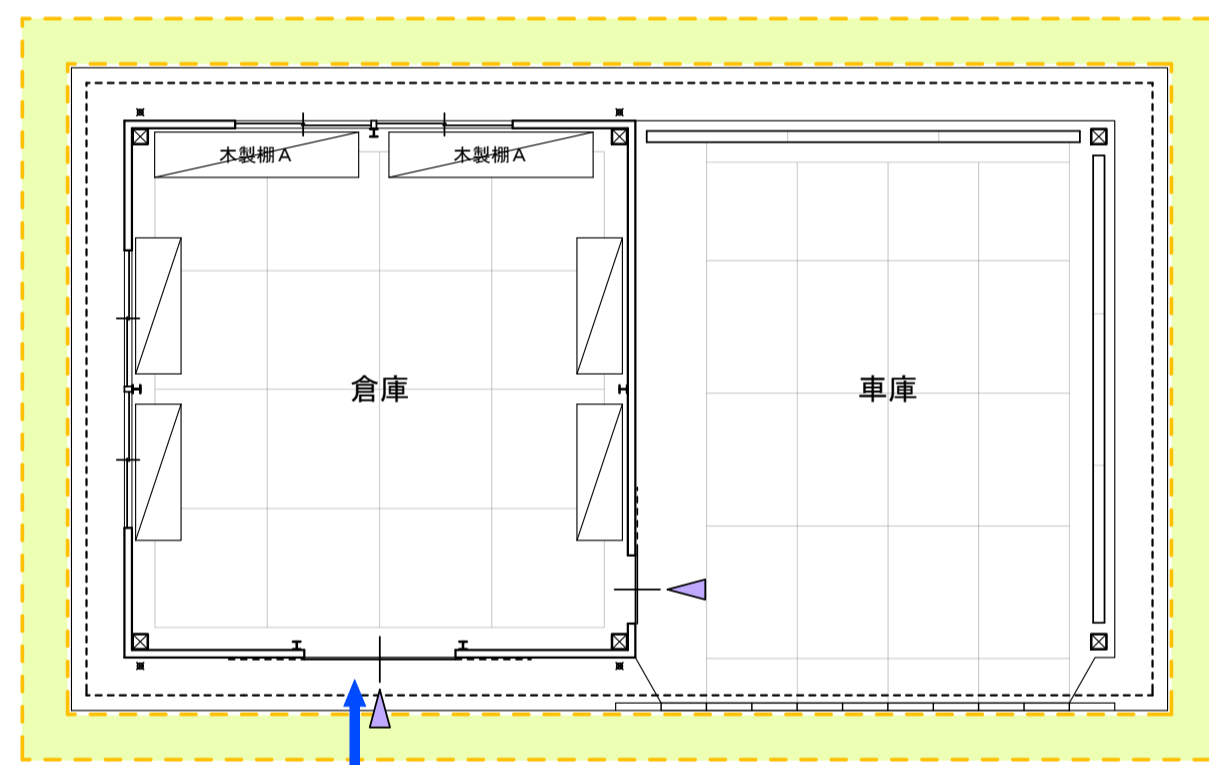
平面図 SCALE 1:100

建具表		SCALE 1:50				
型式	1	2	1	1	2	
場所	SD	SD	AW	AG	AG	
	受変電室		受変電室	受変電室	受変電室	屋根裏側
	[建具廻りシリング 打替]		[建具廻りシリング 打替]	[建具廻りシリング 打替]	[建具廻りシリング 打替]	[建具廻りシリング 打替]
図	[Diagram showing window and door details with dimensions]		[Diagram showing window and door details with dimensions]		[Diagram showing window and door details with dimensions]	
個数	1	1	1	1	2	
仕上	錆止めの上OP		電解二次発色 (スチール)		電解二次発色 (スチール)	
金物	[Material specifications]		[Material specifications]		[Material specifications]	
網子	-		網入り型ガラス 厚6.8mm		-	
備考	見込み 100mm SUS管据 SUS枠		見込み 100mm SUS管据 SUS枠		見込み 100mmφ17 (1インチ) 水切り 内外7â5継縁	

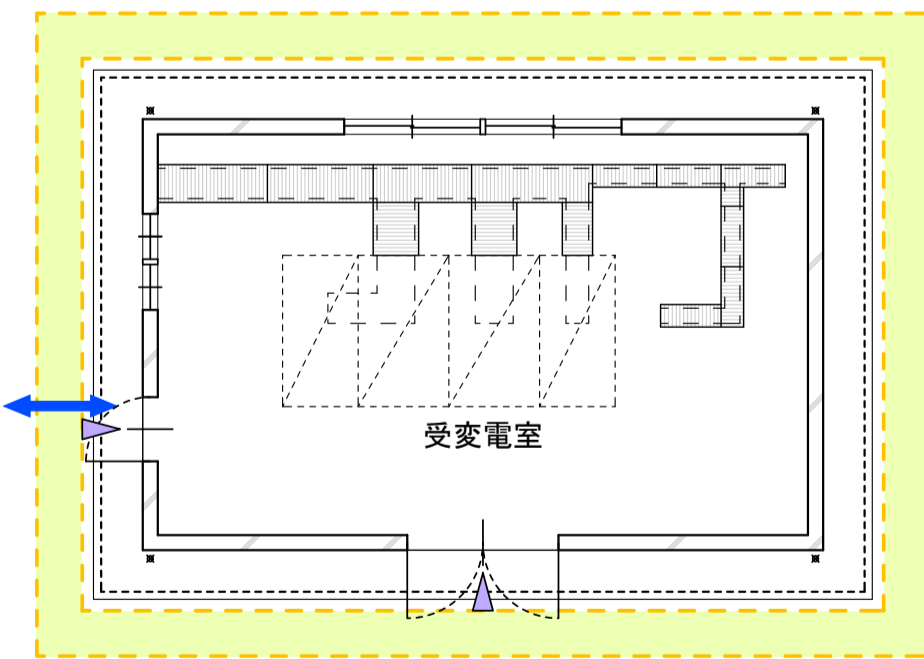
凡例	記号	部位	既存	処理	改修後	部位	既存	処理	改修後	部位	既存	処理	改修後
	▲	建物への出入口 位置を示す	a	コンクリート打放 (木毛板t=25打込)	-	-	a	屋根	高圧洗浄 下地調整RB種	低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系 屋根用遮熱塗料	j	壁紙	お-硬質塩t'製φ75
(**)**	各室の床面積 を示す	b	床型:コンクリート打放仕上げ	-	-	b	襖包	高圧洗浄 下地調整RB種	低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系 屋根用遮熱塗料				
<±***>	基準GLに対する床高 を示す	c	LGS25形天井下地+7â3PL (お-焼付) t=2.0曲げ加工	下地調整RB種	DP-1 [ふっ素樹脂系]	c	お-網め	高圧洗浄 下地調整RB種	低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系 屋根用遮熱塗料				シート工法 [可とう性お-樹脂]
<***>	各室FLに対する天井高 を示す					d	笠木	高圧洗浄 下地調整RB種	DP-1 [ふっ素樹脂系]				
S	S造壁 を示す					e	谷槽	高圧洗浄	お-専用耐酸被覆鋼板 (お-コバ)				
←	屋根勾配 を示す					f	外壁	高圧洗浄 下地調整RB種	防水形複層塗材E				
○	お-パイプ管 位置を示す SUS製φ30					g	水切	下地調整RB種	DP-1 [ふっ素樹脂系]				
⊗	天井点検口 を示す 7â製450x450					h	腰壁	高圧洗浄 目地シリング [撤去]	目地シリング 打替 (MS-2 15x20)				
●	消火器 位置を示す					i	落し口	-	-				



管理棟仮設図 SCALE 1:100



倉庫棟仮設図 SCALE 1:100



受変電棟仮設図 SCALE 1:100

凡例		建物への出入口 位置を示す		RC造壁 を示す	Y軸 A B C ... 1 2 3 ... X軸	
		建物への出入口 位置を示す		S造壁 を示す		
		施設利用入口動線		LGS造壁 を示す		
		工事用通用扉 W=900×H=2,000(木製)		CB造壁 を示す		
		手摺先行枠組足場(建て地幅600)		W造壁 を示す		

箇所	期間	1カ月					2カ月					3カ月					4カ月					5カ月					6カ月				
		5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25
準備・仮設		準備 → 施工調査 → 仮設																									清掃 → 各種検査 → 竣工				
遠方監視室 事務室							床改修 → 壁改修																								
通信機械室							床改修																								
料金計算室 監視員休憩室							仮設間仕切					解体 → 下地 → 仕上																			
收受員休憩室												仮設間仕切					解体 → 下地 → 仕上 → 設備機器														
男子WC 女子WC 湯沸室												仮設間仕切					解体 → 下地 → 仕上 → 設備機器														
外部WC																	解体 → 下地 → 仕上 → 設備機器														
玄関 廊下																	解体 → 仕上														
倉庫												解体 → 下地 → 仕上 → 設備機器																			
その他改修 建具改修等																											状況に応じて				

箇所	期間	1カ月					2カ月					3カ月					4カ月					5カ月					6カ月				
		5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25
準備・仮設		準備 → 場内調査 → 足場設置 → 施工調査															足場撤去 → 清掃														
外部							屋根改修					外壁改修																			

箇所	期間	1カ月					2カ月					3カ月					4カ月					5カ月					6カ月				
		5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25
準備・仮設		準備 → 場内調査 → 足場設置 → 施工調査										足場撤去 → 清掃																			
外部							屋根改修					外壁改修																			

箇所	期間	1カ月					2カ月					3カ月					4カ月					5カ月					6カ月				
		5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25
準備・仮設		準備 → 場内調査 → 足場設置 → 施工調査										足場撤去 → 清掃																			
外部							屋根改修					外壁改修																			